



福島・国際研究産業都市（イノベーション・コースト）構想 における課題に関して

平成29年3月24日

「イノベーション・コースト構想」における課題

ロボット・国際産学連携

★：今後のイノベーション・コースト構想の推進に向けた重点方針に係る考察

No	分野	課題内容	課題内容に対する考察
1	ロボット・国際産学連携	<ul style="list-style-type: none"> ■ ロボットテストフィールドの機能や立地を十分に踏まえ、福島浜通り実証区域との棲み分けや機能分業を通じて、浜通りにおける、より効率的なロボット研究・開発体制構築の考え方について検討を進める必要があるのではないか。 ✓ 具体的には、ロボットテストフィールドは、国際産学官共同研究室における研究テーマから生起するニーズを反映させたものとし、さらなる実証ニーズに応えるために、福島浜通り実証区域を活用する等、機能分業をするとともに、両者を一体的に運営することが最も効果的とも考えられる ※ No5に掲げる、基礎研究～応用研究～実証実験を包括的に機能させる論点とも関連 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 拠点の持続性に関する考察 ✓ 今後は持続性をもって拠点を運用していくためにどうすればよいかについて議論していく必要があるのではないか。 ✓ 2020年にロボット国際競技大会が開催されるが、予選についても福島県の拠点を活用していくべきではないか。
2	ロボット・国際産学連携	<ul style="list-style-type: none"> ■ ロボットテストフィールドの機能等については検討や関連企業への情報共有等は実施されているが、今後は機能の検討の更なる深化や対外的な周知について検討していく必要があるのではないか。 ✓ 一定の実証ニーズ(調査結果、これまでの補助事業者のテーマ)の反映 ✓ 高いパフォーマンスを提供するための機能や運営の在り方 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><商工労働部ロボット産業推進室からのヒアリング内容> ロボットテストフィールドの機能については、研究開発や実証試験のほか、現在、操縦訓練や製品認証の在り方について検討している。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 先端的な実験・実証に関する考察 ★ ✓ ドローンを中心とする先端的な実験・実証を通じて参画し、付加価値向上(高価な製品でも利用していただくための取組等)に努める必要があるのではないか。 ✓ ユーザーにどのようなロボットがあるのか知ってもらい、評価して頂くような場をロボットテストフィールドに構築する必要があるのではないか。

「イノベーション・コースト構想」における課題

ロボット・国際産学連携

★：今後のイノベーション・コースト構想の推進に向けた重点方針に係る考察

No	分野	課題内容	課題内容に対する考察
3	ロボット・国際産学連携	<ul style="list-style-type: none"> ■ 屋外作業用ロボット及び廃炉等の屋内作業用ロボットにおいて、共通項となる特性については、モックアップ試験施設、テストフィールド及び福島浜通り実証区域にて実証実験を実施する一貫通貫の仕組みを構築してみてはどうか。 ✓ 上記仕組みを構築するためには、『国際産学官共同研究室運営主体＝ロボットテストフィールド運営主体＝JAEAの連携』が不可欠ではないか 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ロボット開発から事業化までの一貫した施策に関する考察 ✓ 研究開発・実証・事業化が一貫してなされるような構想となるための取り組みについて、検討する必要があるのではないかと。(そのためには、JAEAとの連携は必須ではないか)
4	ロボット・国際産学連携	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国際産学官共同研究室とJAEA研究施設の連携を強化し、共同研究も視野に入れた体制を構築するべきではないか。 ✓ 主にロボット、放射線分野を中心とした共同研究の可能性の模索 <p style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> <商工労働部ロボット産業推進室からのヒアリング内容> JAEAとの連携を図るため、現在、JAEAと導入機器の調整や役割の棲み分けについて検討している。 </p>	
5	ロボット・国際産学連携	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国際産学官共同研究室にてオープンイノベーションの新技术開発を促進し、ロボットテストフィールドでの実証実験につなげることができる研究テーマを設定する等、実証実験を促進する仕組みを検討する必要があるのではないかと。 ✓ 研究テーマの設定(方向性)及び考え方の検討 	

「イノベーション・コースト構想」における課題

ロボット・国際産学連携

★：今後のイノベーション・コースト構想の推進に向けた重点方針に係る考察

No	分野	課題内容	課題内容に対する考察
6	ロボット・国際産学連携	<ul style="list-style-type: none"> ■ ロボットテストフィールドにおけるハイテックプラザの役割に関して、イノベーション・コースト構想に係る各施設の利用企業や外部企業、大学等のマッチングや技術サポートを実施する等、研究及び開発を促進するような機能を検討するべきではないか。 ✓ マッチング機能のみ、もしくは一部研究機能をロボットテストフィールドを拠点として発揮する体制の構築等 ✓ 国際産学官共同研究室／JAEAの施設とハイテックプラザの連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ビジネスマッチングに関する考察 ✓ ものが売れないことに対する対策としては、オール福島体制が必要であり、金融業等も含め、ビジネスマッチングでの支援を実施していく必要があるのではないか。 ■ 技術マッチングに関する考察 ✓ マッチングに際して、採算性の観点（小ロット生産等）や、人材確保（浜通り地域における帰還人員が少ないため）が障害となるのではないか。
7	ロボット・国際産学連携 (アーカイブ拠点)	<ul style="list-style-type: none"> ■ アーカイブ拠点は、如何なる情報を発信する施設とするべきかを検討する必要があるのではないか。 ✓ イノベーション・コースト構想の他の拠点と連携し情報発信する為の運営や発信する情報を検討する等 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><企画調整部文化スポーツ局生涯学習課からのヒアリング内容> 原子力災害の記憶と復興情報(イノベ構想等)の情報発信をコンセプトに検討を進めており、アーカイブ拠点に隣接する施設(産業交流センター、公園等)や、ロボットテストフィールド等、イノベ構想関連施設とも連携しながら発信内容の詳細を詰めていく。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ■ ロボット技術の情報発信に関する考察 ✓ ロボット技術の情報発信について議論する必要があるのではないか。 (国交省にてロボット技術発信のあり方を調査しているため連携も必要)

「イノベーション・コースト構想」における課題

ロボット・国際産学連携

★: 今後のイノベーション・コースト構想の推進に向けた重点方針に係る考察

No	分野	課題内容	課題内容に対する考察
8	ロボット・国際産学連携	<ul style="list-style-type: none"> ■ 将来にわたって廃炉及び防災の人材を安定的に供給可能とするため、技術者研修拠点と各拠点との連携強化の在り方について検討するべきではないか。 ✓ 廃炉の技術者育成のため、研究センターと連携した研修を検討する等 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人材育成に関する考察 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 座学や講演会だけでなく、実際のプロジェクト通じた育成していく方法を検討する必要があるのではないか。 ✓ 浜通り地域の製造業の工場においては、正社員だけが働いている状況がありコスト高になってしまう例が確認できる。根本的な課題として考えられる人材不足について検討する必要があるのではないか。 ✓ インセンティブのような形式で雇用を創出することはできないか。 ■ 人材の活用に関する考察 ★ <ul style="list-style-type: none"> ✓ マンパワー(スキル)をビジネスにする考え方もあるのではないか。今後産業用ドローンオペレーターは資格として重要度を増すため、トレーニング場、教習ビジネスやオペレーターの派遣ビジネスなど、ソフトパワーもイノベ構想に織り込めたら良いのではないか。

「イノベーション・コースト構想」における課題

ロボット・国際産学連携

★: 今後のイノベーション・コースト構想の推進に向けた重点方針に係る考察

No	分野	課題内容	課題内容に対する考察
9	ロボット・国際産学連携	<ul style="list-style-type: none"> ■ イノベーション・コースト構想での各PJや浜通り地域の特性(各市町村の優位性等)を踏まえて、各教育拠点(大学や高校等の教育機関)での研究テーマはどうあるべきかについて検討するべきではないか。 ✓ 例えば、イノベーション・コースト構想に関連する放射線や農業に関する研究テーマをもとに大学の在り方を検討する等 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地元企業の参画に関する考察 ★ <ul style="list-style-type: none"> ✓ 福島県の企業には補助事業に採択されず、研究開発を実施したくてもできない企業が存在するため、レベルによるカテゴリーを分けて経験が浅い企業でもチャレンジできるような枠組みを検討する必要があるのではないか。 ✓ 福島県にて開発や製造するとしても、県内企業群が十分とはいえない状況であり対策を検討するべきではないか。 ✓ ビジネスの流れに乗り切れるよう、地元企業を上手く育てていく必要があるのではないか。 ■ 地元教育機関との連携に関する考察★ <ul style="list-style-type: none"> ✓ 福島県内の大学、高校等の教育機関と連携した開発が大事であり、それを観光にも結び付けていく必要があるのではないか。

「イノベーション・コースト構想」における課題

農林水産

★: 今後のイノベーション・コースト構想の推進に向けた重点方針に係る考察

No	分野	課題内容	課題内容に対する考察
10	農林水産	<ul style="list-style-type: none"> ■ 農林水産分野におけるロボット関連、放射線関連の研究について、国際産学官共同研究室及びロボットテストフィールドと連携することで高度化が図れるのではないか。 ✓ 国際産学官共同研究室では、農林水産分野におけるロボット関連、放射線関連PJで生じたニーズを取り込み、各研究に活用することも一案 	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロジェクト内容の明確化に関する考察 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 農林水産業の商品化等、PJの連携や精査を実施して商品化の出口を見つけていく必要があるのではないか。 ✓ テストフィールドにてどういう形で事業化するのか、何を作るべきかを検討する必要があるのではないか。 ✓ 国、自治体のロボットテストフィールドへの関わり方について検討する必要があるのではないか。(災害対策、インフラ点検、農林水産業等) ■ 市場ニーズに関する考察 ★ <ul style="list-style-type: none"> ✓ 農林水産業や福祉等、現場で使える物が何かを明確にし、使う側と一体となり市場ニーズを的確にとらえていくことが必要ではないか。

「イノベーション・コースト構想」における課題

農林水産

★：今後のイノベーション・コースト構想の推進に向けた重点方針に係る考察

No	分野	課題内容	課題内容に対する考察
11	農林水産	<p>■ 環境制御型施設園芸構築PJ、フラワーコースト創造PJ、県産材の需要創造PJの各PJについて、現状を踏まえた今後の進め方について検討を進めるべきではないか。</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><農林水産部農林企画課からのヒアリング内容> 新たな技術の開発・実証に取り組みながら、普及職員等による技術指導や各種助成制度を活用し、営農再開に向けた支援を実施していく。</p> </div>	<p>■ 新技術の活用と付加価値の創出に関する考察 ★</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 収穫ロボットについては現在は周年で農業を行う事業者が少なく、マーケットサイズも小さいため費用対効果に付加価値が出にくいですが、品質面での付加価値を創出することは可能（イチゴやトマトを日の出前に収穫することで水分を吸収していない身が締まった状態で収穫できる等） ✓ 土地利用型農業向けロボット（草刈ロボット（ルンバの草刈り版）等）については市場性が高いと考えられる。市場性を勘案しながら、ロボット開発を推進していくべきではないか。

「イノベーション・コースト構想」における課題

エネルギー

★：今後のイノベーション・コースト構想の推進に向けた重点方針に係る考察

No	分野	課題内容	課題内容に対する考察
12	エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ■ 再生可能エネルギー40%の目標達成に向けて如何に取り組んでいくのかを検討する必要があるのではないか。 ✓ 福島県における供給可能な見込み電力量、事業者選定プラン等を確定する必要があるのではないか ✓ 技術的な課題があるPJに関して、導入を進めるため実証を進め、供給方法の確立を並行して進めるべきではないか ⇒No14に掲げる、電力需要に関する課題とも関連 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>＜企画調整部エネルギー課からのヒアリング内容＞ 再生可能エネルギーの目標については既に達成の見込みが高い。今後は太陽光発電の買取価格が下がること、送電線の空き容量の問題による低圧発電の接続制限への懸念により事業者の参入意欲が低下していくことについて課題と認識している。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社会エネルギー全体に関する考察 ✓ 社会全体のエネルギーのうち、電力は3割、残りの7割も含めて検討することが、地域の行政機関の役割だと考えられる。電力だけではなく全体をマネジメントしていくことが大事ではないか。
13	エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地元事業者（製造業、建設業等）と連携し、産業集積を実現できる体制を構築することができるかを検討する必要があるのではないか。 ✓ 地元事業者が担う産業分野を定義し、対象となる事業者を選定 	—

「イノベーション・コースト構想」における課題

エネルギー、スマートエコパーク

★：今後のイノベーション・コースト構想の推進に向けた重点方針に係る考察

No	分野	課題内容	課題内容に対する考察
14	エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ■ 発電した電力の消費先及び、消費量について検討するべきではないか。 ✓ 電力の消費は「スマート・コミュニティ等への直接的な供給」や「電力会社への売電(福島県内への間接的な供給)」が想定される ✓ 2020年時点では、電力会社への売電により目標となる再生可能エネルギー導入割合40%を達成することが必要となるため、電力会社の受け入れ可能な電力量と目標値の整合性を確認する <p style="border: 1px solid green; padding: 2px;">＜企画調整部エネルギー課からのヒアリング内容＞ 東北電力以外に売電先の電力会社を増やすなど、供給先については検討している。</p>	—
15	スマート・エコパーク	<ul style="list-style-type: none"> ■ スマート・エコパークの各WGにおいて検討しているリサイクル資材等を念頭において、今後の具体化に向けた検討をするべきではないか。 ✓ 例えば、電気自動車等に活用できるリチウム電池や、再生可能エネルギーに活用できる太陽光パネル素材、ロボット素材に活用できる炭素繊維材料であればイノベーション・コースト構想に活用できるのではないかな ■ バイオマスについてはエネルギー分野との連携を強化し、棲み分け及び機能分業について検討する。 <p style="border: 1px solid green; padding: 2px;">＜商工労働部産業創出課からのヒアリング内容＞ 現状のリサイクル事業のテーマが多岐にわたるため、浜通り地域の独自性を出す必要があり、今後はテーマを明確化し事業推進を実施していきたいと考えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 廃棄物・リサイクル関連の法令等に関する考察 ✓ 現在廃棄物・リサイクル関連の法令が個別に存在しており、各法令の統合的な運用という視点で捉えてもよいのではないかな。 ✓ 産業廃棄物だけでなく、製品のライフサイクル(買替寿命)も含めたりサイクルが重要で、クリーンな価値創出といった環境創造の観点から考えてみることもよいのではないかな。

「イノベーション・コースト構想」における課題

その他

★: 今後のイノベーション・コースト構想の推進に向けた重点方針に係る考察

No	分野	課題内容	課題内容に対する考察
16	その他	<ul style="list-style-type: none"> ■ 上記1～15の課題の解決及び、イノベーション・コースト構想全体を一体的に運営するために主導する運営主体が必要ではないか。 ✓ 運営主体の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「イノベーション・コースト構想」全体の運営主体に関する考察 ★ <ul style="list-style-type: none"> ✓ 企業からすれば、どこにどうやってアクセスすれば良いか分からないため運営主体の一本化が重要ではないか。 ■ 運営主体の人材に関する考察 ★ <ul style="list-style-type: none"> ✓ 各PJを総合的に管理しながら、運営する主体を設立してマッチングプランナーとして企画・調整できる人材が必要ではないか。 ■ 推進法人の役割 ★ <ul style="list-style-type: none"> ✓ ユーザに関する調査やビジネスモデルの構築等の戦略企画推進機能を強化する必要があるのではないか。 ✓ 単なるコーディネーターではなく、ビジネスを創造する役割、中小企業への教育を含め、ビジネスをプロデュース役割を担うことが必要ではないか。

「イノベーション・コースト構想」における課題

その他

★: 今後のイノベーション・コースト構想の推進に向けた重点方針に係る考察

No	分野	課題内容	課題内容に対する考察
16	その他	<ul style="list-style-type: none"> ■ 上記1～15の課題の解決及び、イノベーション・コースト構想全体を一体的に運営するために主導する運営主体が必要ではないか。 ✓ 運営主体の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 推進法人のメンバー ★ <ul style="list-style-type: none"> ✓ ベンチャー系の企業等、大企業にない視点を持つ企業をメンバーとして加え、検討をしていくことも考えられるのではないか。 ■ 推進法人における金融の関与 ★ <ul style="list-style-type: none"> ✓ 産学官の連携促進のため、金融の仕組みも考慮することも必要ではないか。 ■ 情報発信について ★ <ul style="list-style-type: none"> ✓ 情報発信の仕組みも重要ではないか。情報を利用しなければ、地域全体として活動が促進されないと考えられる。 ✓ マーケティング等のユーザに話を聞いていただくための活動も重要ではないか。例えば、産業分析の結果についても、情報を公開する等、情報発信していくことが重要ではないか。

「イノベーション・コスト構想」における課題

その他

★: 今後のイノベーション・コスト構想の推進に向けた重点方針に係る考察

No	分野	課題内容	課題内容に対する考察
16	その他	<ul style="list-style-type: none"> ■ 上記1～15の課題の解決及び、イノベーション・コスト構想全体を一体的に運営するために主導する運営主体が必要ではないか。 ✓ 運営主体の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 情報の活用について <ul style="list-style-type: none"> ✓ 技術者や研究開発の可能性に関するデータベースが充実させ、ベンチャーキャピタリストの目利きの能力を発揮できる環境等の整えるべきではないか。 ■ マーケティングにおける連携について <ul style="list-style-type: none"> ✓ ベンチャー企業が1社でマーケティングすることは難しいため、複数社がトータルな連携を図れるような仕組みが必要ではないか。また、ある製品が異なる販売ネットワークで売れることもあるため、相互に連携し、グループ販売する等のプロジェクトも検討すべきではないか。 ■ 時間軸を考慮した計画について ★ <ul style="list-style-type: none"> ✓ 例えば5年後、どのようなことが達成できるのか等を年度毎にフィードバックを実施し、軌道修正をしていくような時間の概念を取り入れた上で推進していく必要があるのではないか。

福島イノベーション・コースト構想の更なる推進における重要な5つの視点

ニーズ オリエンテッド 志向

企業が有するシーズオリエンテッドではなく、市場のニーズを適切に捉えるニーズオリエンテッドな発想で、企業自らが変革していく努力が重要

付加価値向上

新技術を導入する際は、とかく効率向上のみにフォーカスされがちであるが、付加価値向上の視点(高価な製品でも利用していただけるように努める等)が重要

人材育成

技術開発の能力だけでなく、ビジネスの視点も理解した人材育成が重要

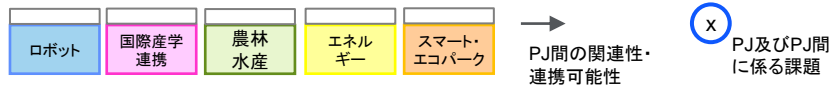
有機的な 連携

浜通り地域に閉じた範囲で検討するだけでなく、県内外の異業種企業やベンチャー企業、金融機関、対外発信のための報道機関等を含めた「産学官金報」が有機的に連携し、推進していくことが重要

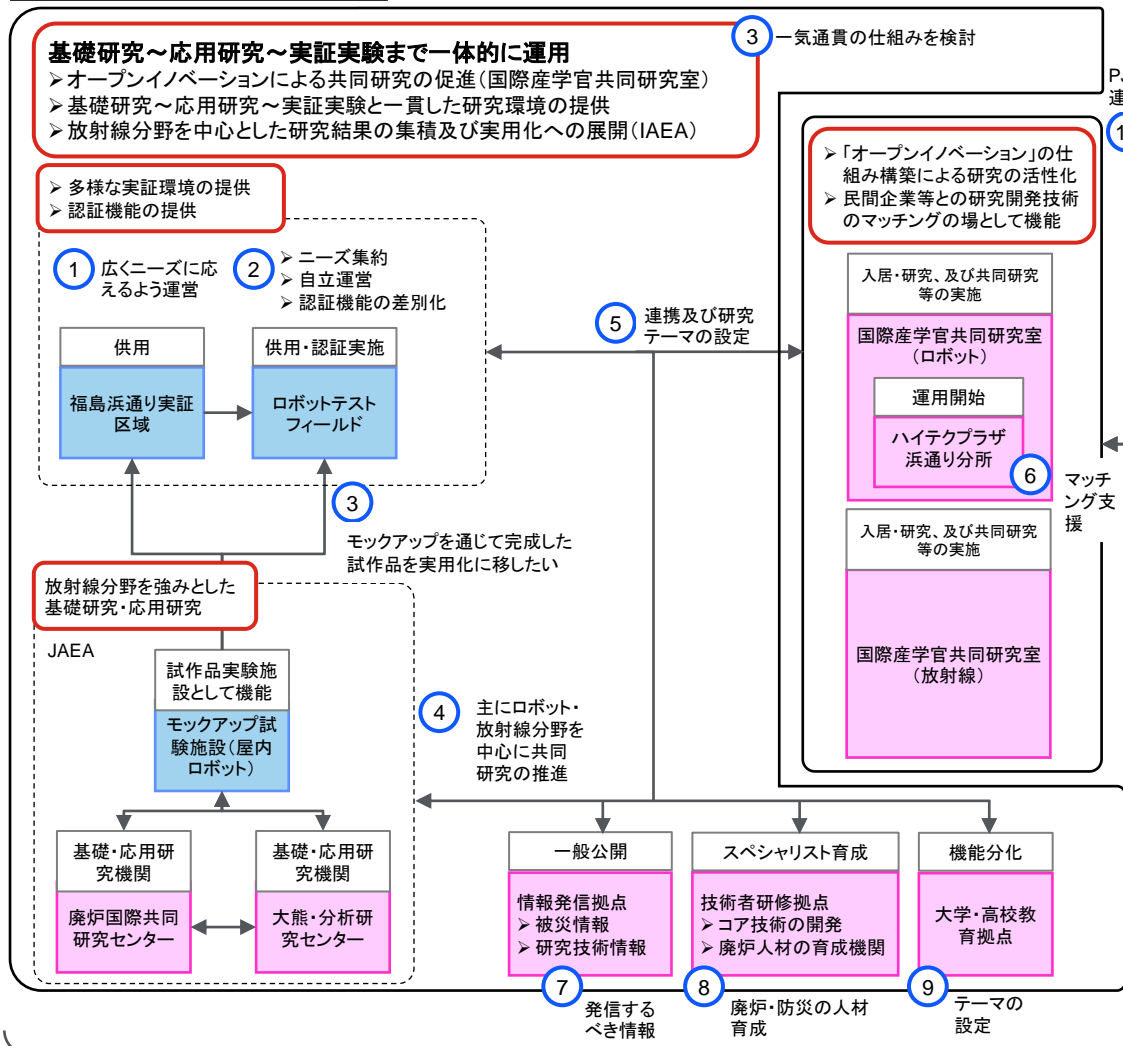
情報の オープン化

各企業の連携を促進していくため、浜通り地域における産業の特長等の情報をオープン化し、企業に市場動向を踏まえた自己変革に取り組むきっかけを提供することが重要

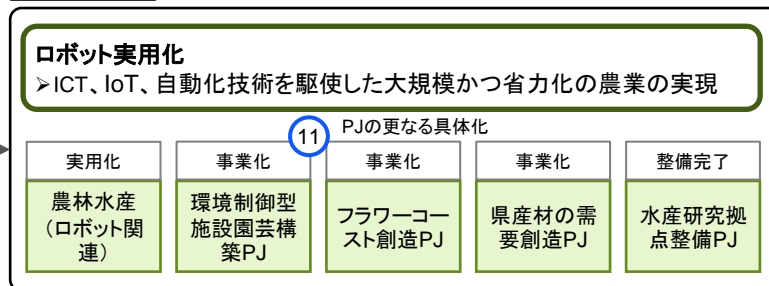
福島・国際研究産業都市(イノベーション・コースト)構想 全体像(イメージ)及び課題



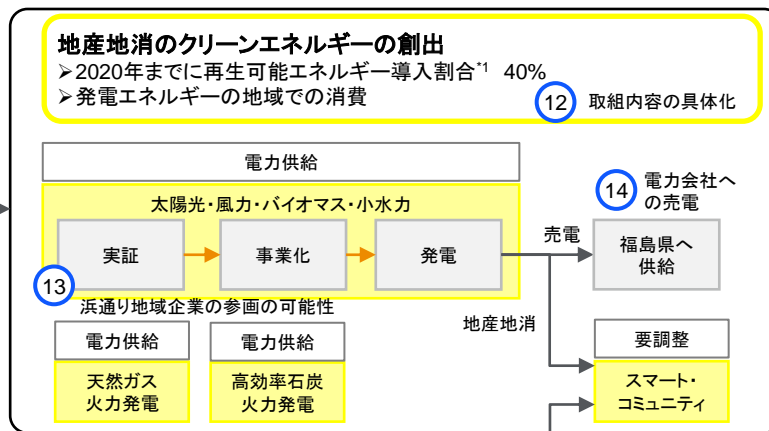
ロボット・国際産学連携



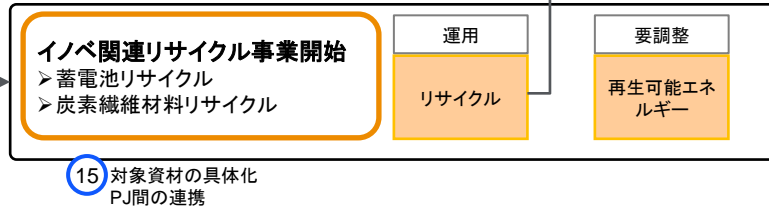
農林水産



エネルギー



スマート・エコパーク



*1: 県内1次エネルギー需要量に対する再生可能エネルギー導入量の割合(原油換算)



浜通り地域の産業分析について（結果報告）

平成29年3月24日

目次

対象のデータについて	2
産業分析結果のサマリ	4
ロボット	8
自動車	14
再生可能エネルギー	20
医療機器	26
食品	32
廃炉(建設)	38
衣類	44
住宅	50
出版	56
イノベーション・コースト構想に係る産業分析マップ	62

対象のデータについて

浜通り地域の企業のうち、事業継続している企業及び休業中の企業を対象とする

産業分析に活用したデータと作業内容

対象データ

- 浜通り地域(15市町村)の企業・個人事業主データ
 - ✓ 件数:6,904件
 - ✓ 対象のデータ:福島県浜通り地域(15市町村)の企業のうち、下記に該当する企業を対象とする
 - ・ 浜通り地域(15市町村)に本社、事業所及び工場が立地している企業
 - ・ 震災前、浜通り地域に立地していたものの、現在浜通り地域外へ避難している事業者の中で、休業中もしくは浜通り地域での事業再開意欲がある事業者は対象とする(既に浜通り地域以外に移転再開済みもしくは引退した事業者は分析の対象外とする)

今回の報告では上記データを基にサプライチェーン構築しうる事業者数を報告

※ SPEEDA、東京商エリサーチ、帝国データバンク、官民合同チーム保有の個人事業主データ、福島県ものづくり企業データベース、福島県市町村要覧、福島県廃炉・除染ロボット技術研究会会員要覧等の情報を基に浜通り地域の企業・個人事業主データを作成

サプライチェーン構築のための作業内容 (概要)

- 対象データに対して業種分類(大分類・中分類・小分類)を定義し、業種分類(小分類)、もしくは会社単位で各社の製品製造のために必要となるInputとOutputを定義
- 各産業で作成したサプライチェーンの枠組み毎に、必要な要素(部品構成要素と個別の部品)を調査し、それを基に製品製造から原材料まで対象データのInputとOutputを紐づけて想定されるサプライチェーンを形成
- 業種分類の妥当性を企業ごとに確認し、実態に基づき企業情報及び業種分類を見直して想定されるサプライチェーンを修正

産業分析結果のサマリ

製造業においては、主に各産業における部品製造に用いられる材料加工(2次加工)の企業が多く存在する

浜通り地域産業分析のサマリ(1/3)

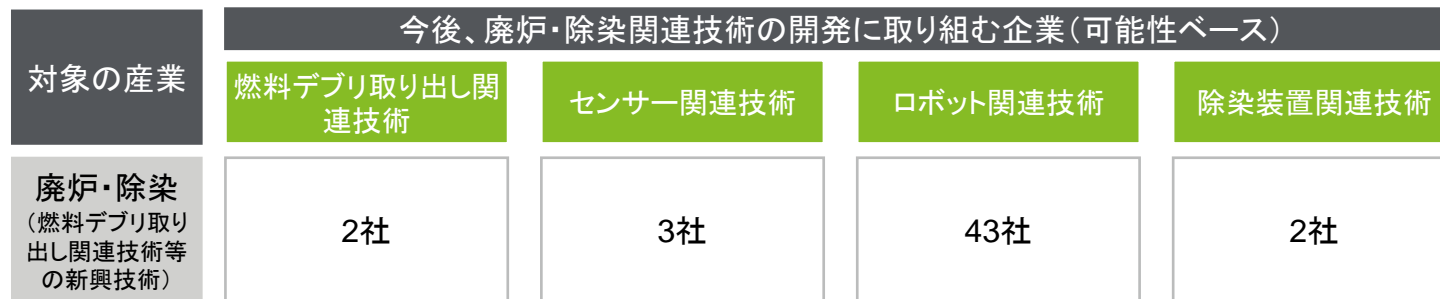
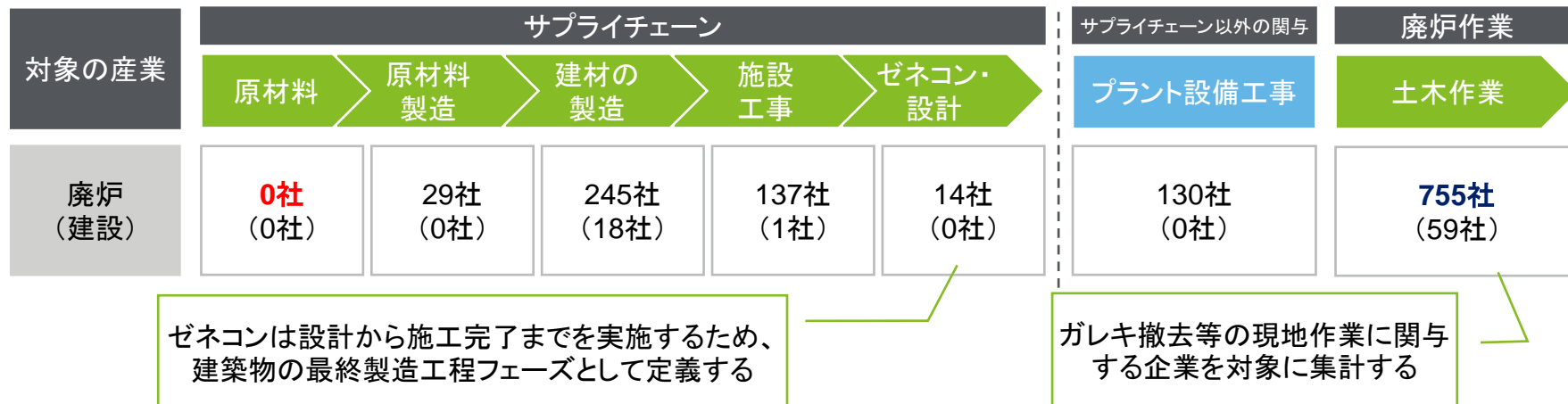
上段 ……法人企業数
 下段(括弧内)……個人事業主数
 青字 ……各産業における最大値
 赤字 ……各産業における最小値

対象の産業	サプライチェーン					サプライチェーン以外の関与		
	原材料	1次加工 原材料製造	2次加工 原材料加工	3次加工 部品製造	製品製造	卸	小売	サポート
ロボット	0社 (0社)	22社 (0社)	153社 (16社)	89社 (0社)	17社 (0社)	63社 (1社)	—	2社 (1社)
自動車	0社 (0社)	22社 (0社)	134社 (16社)	70社 (2社)	0社 (0社)	29社 (0社)	110社 (6社)	121社 (28社)
再生可能 エネルギー	0社 (0社)	22社 (0社)	150社 (16社)	56社 (0社)	0社 (0社)	3社 (0社)	7社 (0社) ※発電事業者	
医療機器 (主に機械)	0社 (0社)	22社 (0社)	131社 (16社)	44社 (0社)	11社 (2社)	5社 (0社)	105社 (30社)	1社 (0社)
対象の産業	サプライチェーン			サプライチェーン以外の関与				
	原材料	作物等生産	食品加工物製造	卸	小売	サポート		
食品	11社 (2社)	90社 (31社)	110社 (19社)	118社 (3社)	236社 (209社)	—		

廃炉においては、建設のサプライチェーンの構築及び廃炉・除染開発研究に参画している企業の規模感をまとめる

浜通り地域産業分析のサマリ(2/3)

上段 ……法人企業数 青字 ……各産業における最大値
 下段(括弧内)……個人事業主数 赤字 ……各産業における最小値



※現状、廃炉・除染に関する技術は研究開発段階であるため、将来的にサプライチェーンを構成する可能性がある企業(福島県廃炉・除染ロボット技術研究会会員要覧等に記載された企業)を集計

衣類、住宅、出版についてもフェーズを定義し、サプライチェーンを構築する

浜通り地域産業分析のサマリ(3/3)

上段 ……法人企業数 青字 ……各産業における最大値
 下段(括弧内)……個人事業主数 赤字 ……各産業における最小値

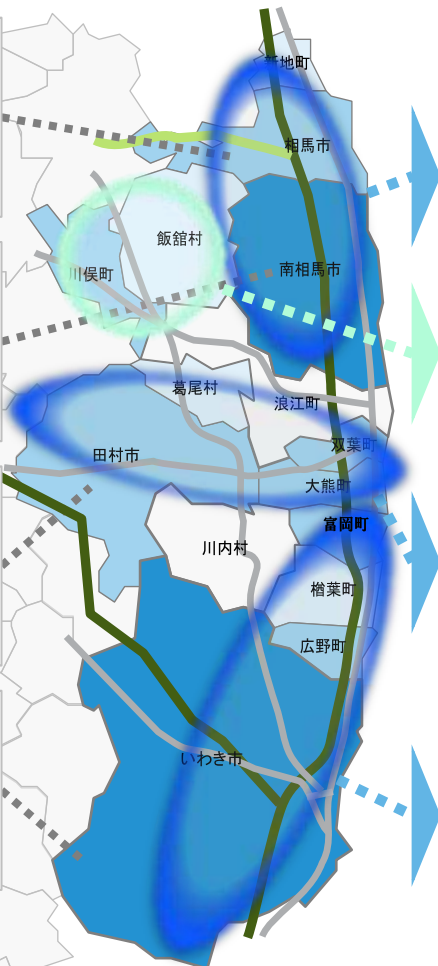
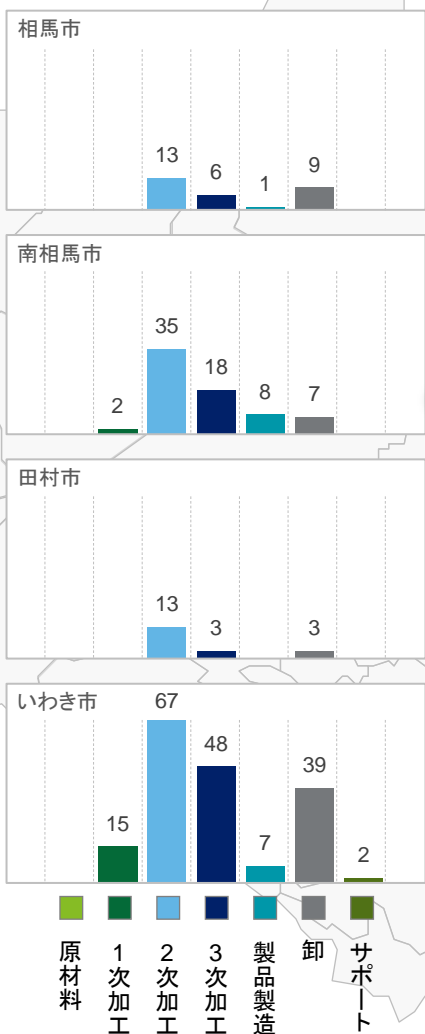
対象の産業	サプライチェーン					サプライチェーン以外の関与		
	原材料	1次加工 原材料製造	2次加工 原材料加工	3次加工 部品製造	製品製造	卸	小売	サポート
衣類	0社 (0社)	3社 (0社)	5社 (0社)	19社 (2社)	42社 (12社)	5社 (0社)	61社 (10社)	11社 (7社)
住宅	0社 (0社)	66社 (18社)	138社 (5社)	553社 (42社)	399社 (70社)	63社 (4社)	62社 (7社)	142社 (215社)
対象の産業	サプライチェーン				サプライチェーン以外の関与			
	原材料	1次加工 原材料製造	2次加工 部品製造	製品製造	卸	小売	サポート	
出版	42社 (18社)	18社 (0社)	17社 (5社)	6社 (1社)	24社 (0社)	24社 (5社)	—	

ロボット

いわき市、南相馬市、田村市を中心とした産業集積の可能性がある

ロボット業界における各市町村の特徴(仮説)

主な市町村別企業分布(社数)



浜通り地域の地図表示(凡例)

- :5つ以上のフェーズに企業あり
- :3~4フェーズに企業あり
- :1~2フェーズに企業あり
- :該当企業なし

主要道路(凡例)

- : 高速道路
- : 自動車専用道路
- : 国道(国管理・県管理)

各市町村の特徴	市町村群の役割(可能性ベース)
<ul style="list-style-type: none"> ■ 新地町 ✓ 2次加工(鉄鋼、非鉄金属)の企業が多い ■ 相馬市 ✓ 2次加工(鉄鋼)の企業が多い ■ 南相馬市 ✓ 3次加工(センサ、知能系、動力系)の企業が多く、製品製造の企業も立地 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 南相馬市を中心とした産業集積 ✓ 南相馬市での産業集積をベースに2次加工を相馬市・新地町で補う体制が構築できるのではないかと
<ul style="list-style-type: none"> ■ 飯館村 ✓ 2次加工(鉄鋼)の企業が立地 ■ 川俣町 ✓ 3次加工(知能系、動力系)の企業が立地 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 部材供給としての可能性 ✓ 飯館村の2次加工、川俣町、葛尾村の3次加工と部品製造までの企業が存在しており、部材供給としての役割に可能性があるのではないかと ✓ 供給先としては浜通り以外(福島市等)への部材供給も可能ではないかと
<ul style="list-style-type: none"> ■ 葛尾村 ✓ 3次加工(知能系)の企業が立地 ■ 田村市 ✓ 2次加工(非鉄金属、非金属)の企業が多く、3次加工(動力系)の企業も立地 ■ 双葉町 ✓ 製品製造の企業が立地 ■ 大熊町 ✓ 1次加工(非鉄金属)の企業が立地 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 田村市を中心とした産業集積 ✓ 田村市は2次加工が多く、3次加工の企業も3社確認できるため他の市町村と連携することで産業集積の可能性があるのでないかと ✓ 製品製造の企業は双葉町の1社のみあり、産業集積するためには製品製造できる企業が必要となる可能性がある
<ul style="list-style-type: none"> ■ 富岡町 ✓ 2次加工(非鉄金属)の企業が立地 ■ 檜葉町 ✓ 2次加工(鉄鋼、電子)、3次加工(動力系)の企業も立地 ■ 広野町 ✓ 3次加工(知能系)の企業が立地 ■ いわき市 ✓ 全フェーズに企業が立地し、特に知能系(制御)の企業が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ■ いわき市を中心とした産業集積 ✓ いわき市での産業集積をベースに部材供給や部品製造を富岡町、檜葉町、広野町で補う体制が構築できるのではないかと

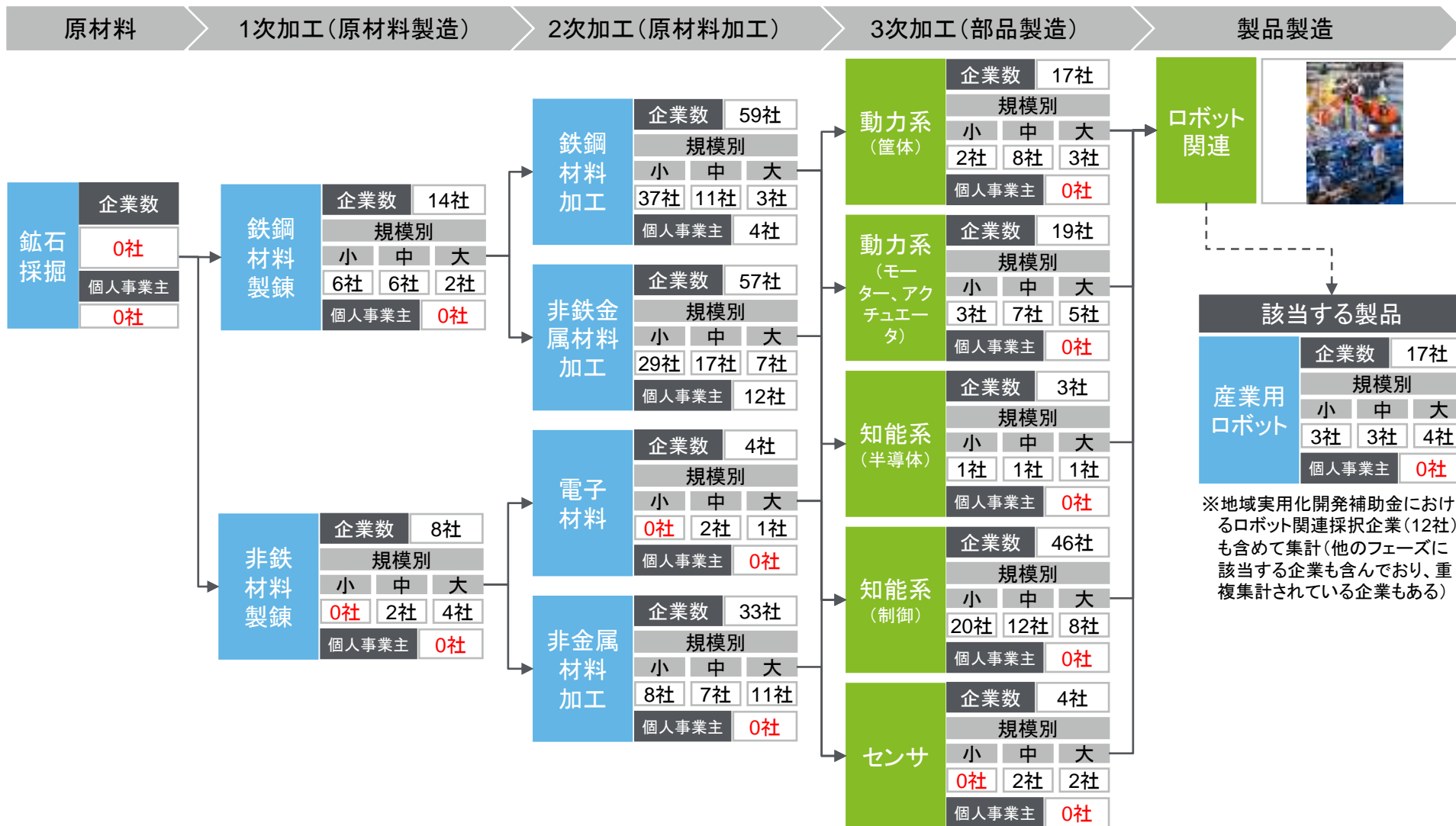
※各市町村に同一フェーズかつ同一構成要素の企業が5社以上立地している場合に「各市町村の特徴」にて「企業が多い」と記載
※主要道路に関しては、道路整備における事業見通しが完了した想定で記載

浜通り地域ではロボット業界に関連する企業数は各フェーズとも多く、鉱石採掘を除くと製品製造以外の要素に従業員101人以上の企業が存在する

ロボット業界のサプライチェーン全体像(従業員規模別)

規模別

小:従業員20人以下 中:従業員21人~100人 大:従業員101人以上
 ※従業員データが確認できない企業は規模別の集計に含まない

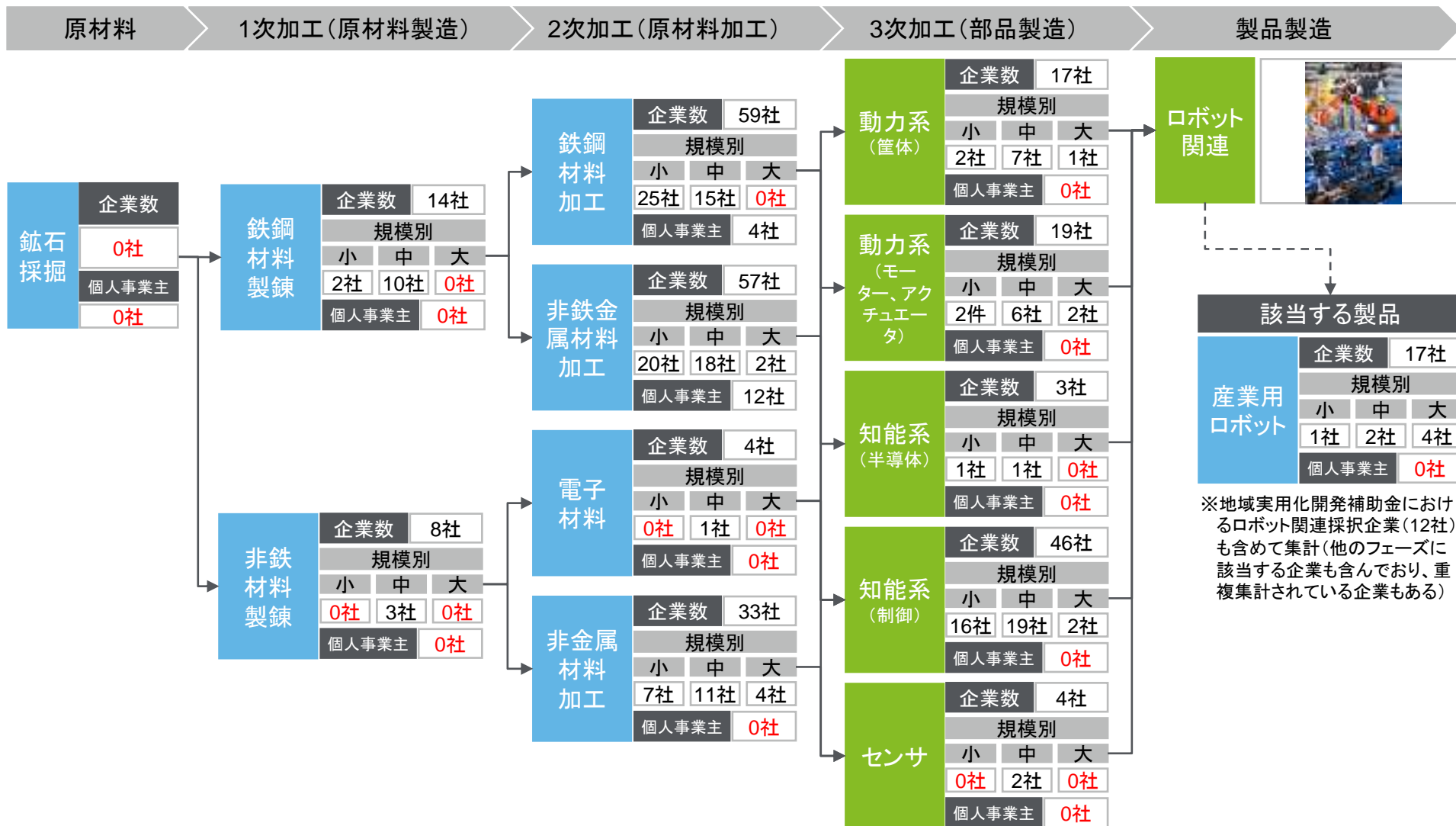


売上高別にみても各フェーズにおいて一定数の企業が存在する

ロボット業界のサプライチェーン全体像(売上高規模別)

規模別

小:売上高1億円以下 中:売上高1億円~100億円 大:売上高100億超
 ※売上高データが確認できない企業は規模別の集計に含まない



※地域実用化開発補助金におけるロボット関連採択企業(12社)も含めて集計(他のフェーズに該当する企業も含んでおり、重複集計されている企業もある)

いわき市、南相馬市に企業が多く存在し、製品製造の企業も確認できる

ロボット業界における各市町村の企業分布

枠内・・・法人企業数

※個人事業主が存在する場合は個人事業主数を記載

青字・・・市町村における最大値

赤字・・・市町村における最少値

対象市町村	サプライチェーン					サプライチェーン以外の関与		
	原材料	1次加工 原材料製造	2次加工 原材料加工	3次加工 部品製造	製品製造	卸	小売	サポート
新地町	0社	0社	5社	1社	0社	0社	—	0社
相馬市	0社	0社	13社	6社	1社	9社	—	0社
南相馬市	0社	2社	35社(13社)	18社	8社	7社(1社)	—	0社(1社)
飯舘村	0社	0社	2社(2社)	1社	0社	0社	—	0社
川俣町	0社	0社	4社	7社	0社	2社	—	0社
浪江町	0社	0社	0社	0社	0社	0社	—	0社
葛尾村	0社	0社	0社(1社)	1社	0社	0社	—	0社
田村市	0社	0社	13社	3社	0社	3社	—	0社
双葉町	0社	1社	1社	0社	1社	0社	—	0社
大熊町	0社	1社	1社	0社	0社	2社	—	0社
富岡町	0社	1社	4社	0社	0社	1社	—	0社
檜葉町	0社	0社	5社	2社	0社	0社	—	0社
広野町	0社	2社	3社	2社	0社	0社	—	0社
川内村	0社	0社	0社	0社	0社	0社	—	0社
いわき市	0社	15社	67社	48社	7社	39社	—	2社

(ご参考)ロボット業界のフェーズに関する説明

対象フェーズ	フェーズに該当する企業の定義	本資料におけるサプライチェーンの定義				
製品製造	✓ ロボットを企画・製造する企業	ロボット 関連				
3次加工 部品製造	✓ ロボットの部品製造に該当する企業 動力系: ロボットを稼働させる部品群 (筐体やモーター、電動アクチュエータ等) 知能系: ロボットの稼働をコントロール(命令・制御)に 関係する部品群 センサ: 音声認識や画像認識の外部情報を認識する為に 必要となる部品群	動力系 (筐体)	動力系 (モーター、 アクチュエータ)	知能系 (半導体)	知能系 (制御)	センサ
2次加工 原材料加工	✓ ロボットの部品製造の為に必要な部材を加工 する企業 (鉄鋼材料をロボット部品用への加工等)	鉄鋼 材料 加工	非鉄金 属材料 加工	電子 材料	非金属 材料 加工	
1次加工 原材料製造	✓ 原材料を元に材料の複合や強化を実施する 企業 (鉄を加工した鉄鋼材料等)	鉄鋼 材料 製錬	非鉄 材料 製錬			
原材料	✓ 原材料自体を採掘する企業 (鉄鉱石等)	鉱石 採掘				

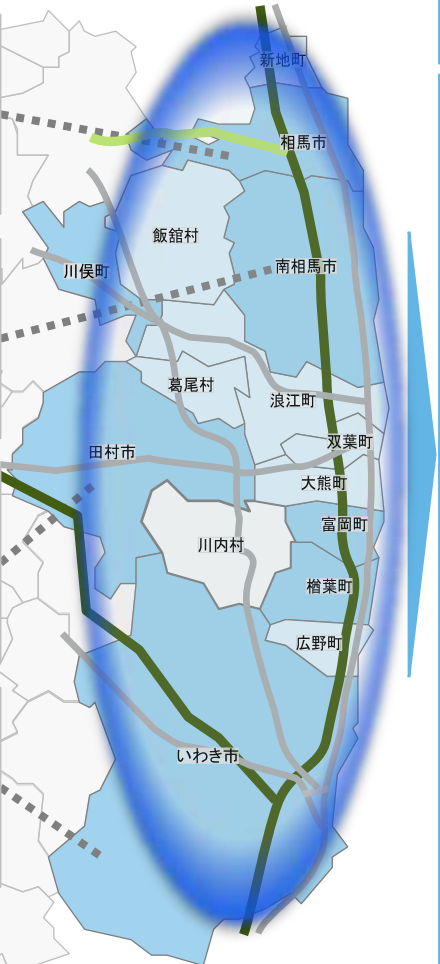
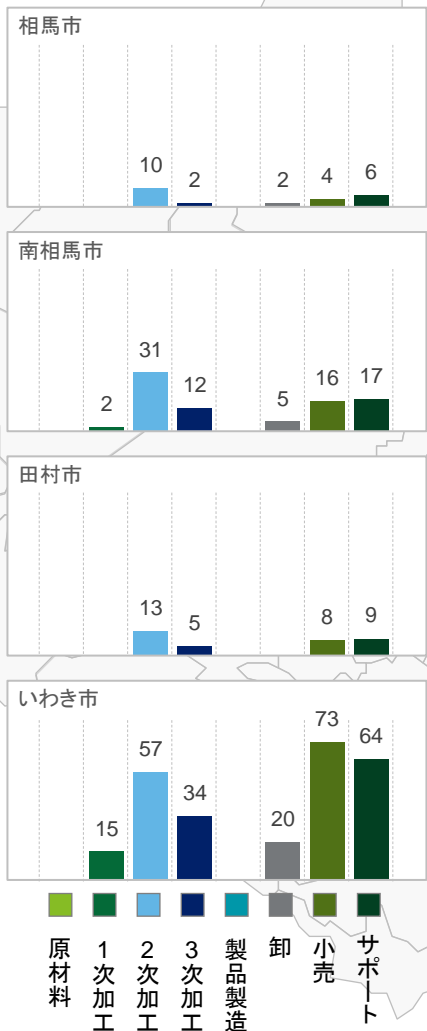
製品製造の流れ

自動車

部品の製造までの企業数が確保されており、部品製造を強みにした産業集積が形成できる可能性がある

自動車業界における各市町村の特徴(仮説)

主な市町村別企業分布(社数)



浜通り地域の地図表示(凡例)

- : 7つ以上のフェーズに企業あり
- : 4~6フェーズに企業あり
- : 2~3フェーズに企業あり
- : 1つ以下のフェーズに企業あり

主要道路(凡例)

- : 高速道路
- : 自動車専用道路
- : 国道(国管理・県管理)

各市町村の特徴

- **新地町**
✓ 3次加工(駆動電動、電気電装)の企業が立地
- **相馬市**
✓ 2次加工(鉄鋼)、サポートの企業が立地
- **南相馬市**
✓ 2次加工(鉄鋼、非鉄金属)、3次加工(駆動電動、内外装品)、サポートの企業が多い
- **飯館村**
✓ 2次加工(鉄鋼)の企業が立地
- **川俣町**
✓ 3次加工(駆動電動)、サポートの企業が多い
- **浪江町**
✓ サポートの企業が立地
- **葛尾村**
✓ 3次加工(駆動電動)、サポートの企業が立地
- **田村市**
✓ 3次加工(電気電装、内外装品、内燃機関)が立地し、サポートの企業が多い
- **双葉町**
✓ 1次加工(金属)の企業が立地
- **大熊町**
✓ 1次加工(非金属)の企業が立地
- **富岡町**
✓ 3次加工(電気電装)、サポートの企業が立地
- **楢葉町**
✓ 2次加工(電子)、3次加工(車体)の企業が立地し、サポートの企業が多い
- **広野町**
✓ 1次加工(非金属)、3次加工(駆動電動)の企業が立地
- **いわき市**
✓ 原材料、製品製造以外に企業が立地し、特に3次加工(駆動電動)の企業が多い

市町村群の役割(可能性ベース)

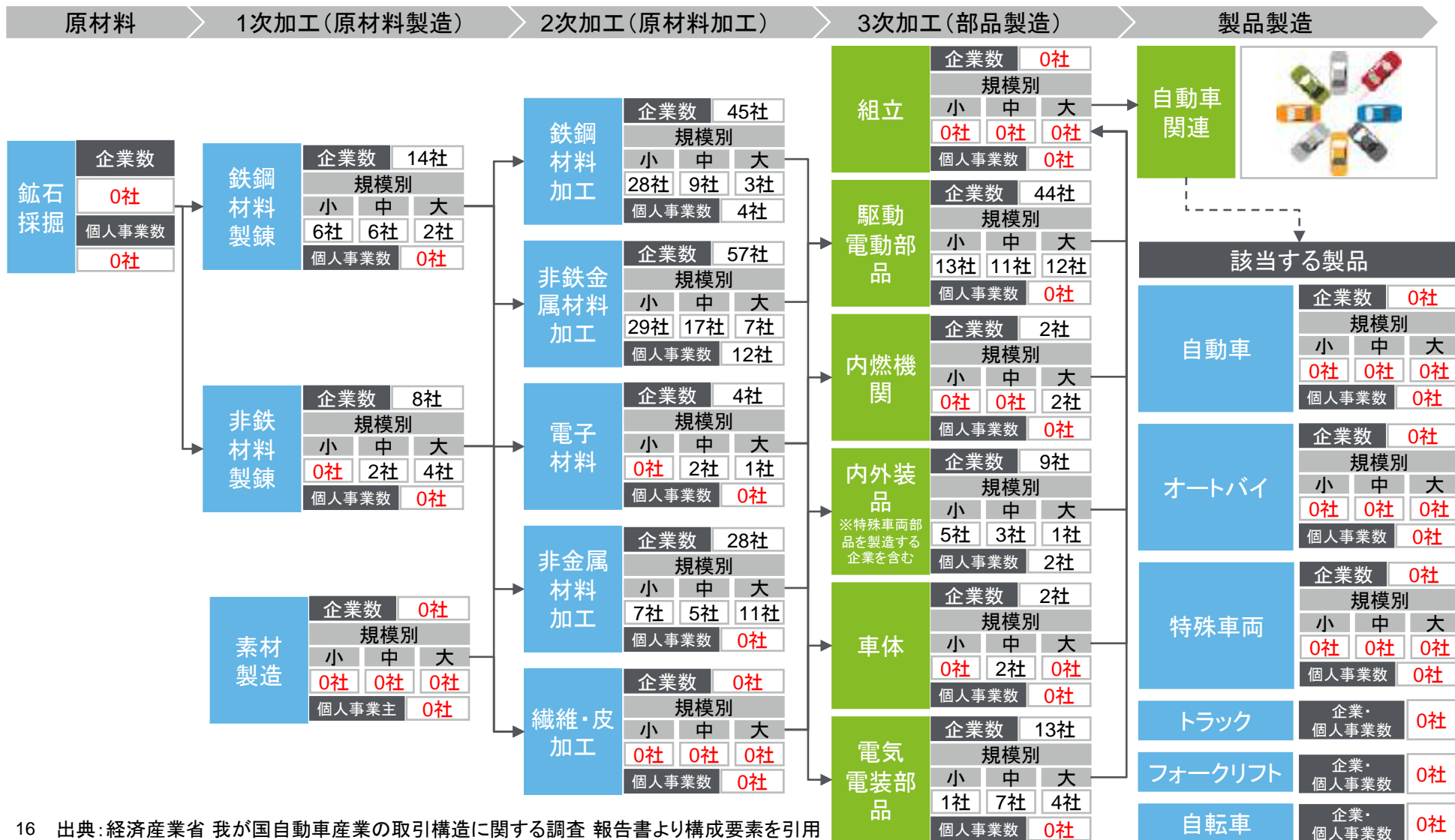
- **2次加工と3次加工に強みを持つサプライチェーン構築の可能性あり**
✓ 製品製造の企業数が無い(自動車のOEMメーカーの工場が存在するが部品製造の工場である)、浜通り全体での自動車部品(駆動電動部品に関する企業)の製造に強みを持つサプライチェーン構築の可能性はあるのではないかと
- ※いわき市や南相馬市以外にも企業数は少ないが一定規模の自動車部品製造会社は存在するため、浜通り地域全体で連携した集積が考えられる
- **サポート企業の関与の可能性**
✓ 川内村、大熊町、浪江町、葛尾村にはサポートに該当する企業がいる。サポートに該当する企業の大半は自動車整備の会社が多いため、修理や一部組み立て等を実施することで関与できる可能性があるのではないかと

自動車業界においては、駆動電動部品に関する部品製造会社が多く存在する

自動車業界のサプライチェーン全体像(従業員規模別)

規模別

小:従業員20人以下 中:従業員21人~100人 大:従業員101人以上
 ※従業員データが確認できない企業は規模別の集計に含まない

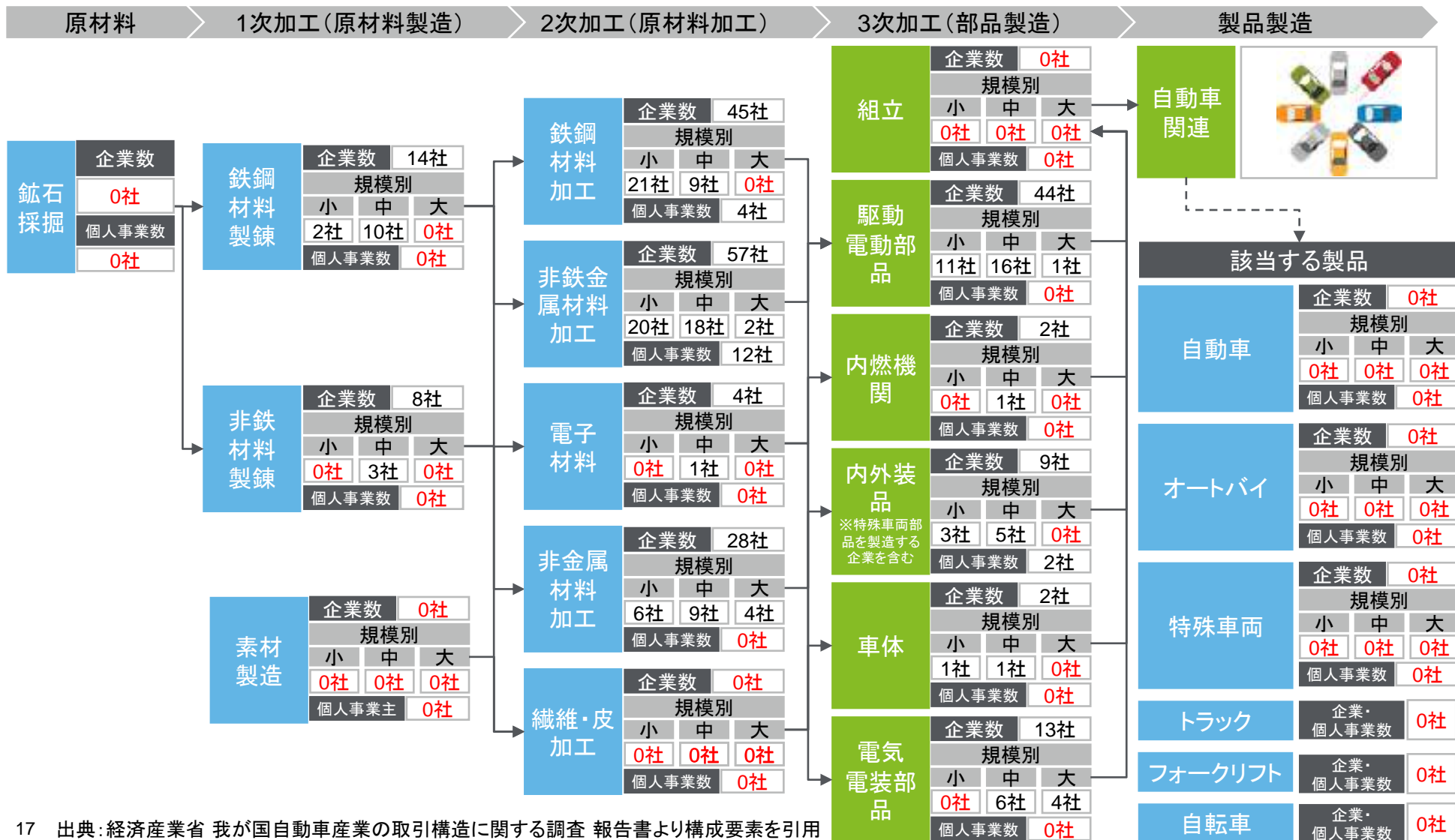


自動車業界においては、駆動電動部品に関する部品製造会社が多く存在する

自動車業界のサプライチェーン全体像(売上高規模別)

規模別

小:売上高1億円以下 中:売上高1億円~100億円 大:売上高100億超
※売上高データが確認できない企業は規模別の集計に含まない



部品製造において、いわき市、南相馬市以外にも相馬市や川俣町、田村市に部品製造の会社が一定数存在する

自動車業界における各市町村の企業分布

枠内・・・法人企業数

※個人事業主が存在する場合は個人事業主数を記載

青字・・・市町村における最大値

赤字・・・市町村における最少値

対象市町村	サプライチェーン					サプライチェーン以外の関与		
	原材料	1次加工 原材料製造	2次加工 原材料加工	3次加工 部品製造	製品製造	卸	小売	サポート
新地町	0社	0社	4社	2社	0社	0社	2社	0社
相馬市	0社	0社	10社	2社	0社	2社	4社	6社
南相馬市	0社	2社	31社(13社)	12社(1社)	0社	5社	16社(2社)	17社(12社)
飯舘村	0社	0社	3社(2社)	0社	0社	0社	0社(2社)	2社(2社)
川俣町	0社	0社	4社	8社	0社	1社	4社	5社(1社)
浪江町	0社	0社	0社	1社	0社	1社	0社	3社(4社)
葛尾村	0社	0社	0社(1社)	1社	0社	0社	0社	2社
田村市	0社	0社	13社	5社	0社	0社	8社	9社
双葉町	0社	1社	1社	0社	0社	0社	0社	1社
大熊町	0社	1社	0社	0社	0社	0社	0社(1社)	2社(1社)
富岡町	0社	1社	4社	1社(1社)	0社	0社	2社(1社)	3社(5社)
檜葉町	0社	0社	4社	2社	0社	0社	1社	5社(3社)
広野町	0社	2社	3社	2社	0社	0社	0社	0社
川内村	0社	0社	0社	0社	0社	0社	0社	2社
いわき市	0社	15社	57社	34社	0社	20社	73社	64社

(ご参考)自動車業界のフェーズに関する説明

対象フェーズ	フェーズに該当する企業の定義	本資料におけるサプライチェーンの定義					
製品製造	✓ 自動車メーカー(OEM)に該当する企業	自動車					
3次加工 部品製造	✓ 自動車部品製造(Tier1~2)に該当する企業 (自動車の構成要素「組立」「駆動電動部品」「内燃機関」「内外装品」「車体」「電気電装部品」ごとに定義)	組立	駆動 電動部 品	内燃機 関	内外装 品	車体	電気 電装部 品
2次加工 原材料加工	✓ 自動車部品製造の為に必要な部材を加工する企業 (鉄鋼材料を自動車部品用への加工等)	鉄鋼 材料 加工	非鉄金 属材料 加工	電子 材料	非金属 材料 加工	繊維・皮 加工	
1次加工 原材料製造	✓ 原材料を元に材料の複合や強化を実施する企業 (鉄を加工した鉄鋼材料等)	鉄鋼 材料 製錬	非鉄 材料 製錬	素材 製造			
原材料	✓ 原材料自体を採掘する企業 (鉄鉱石等)	鉱石 採掘					

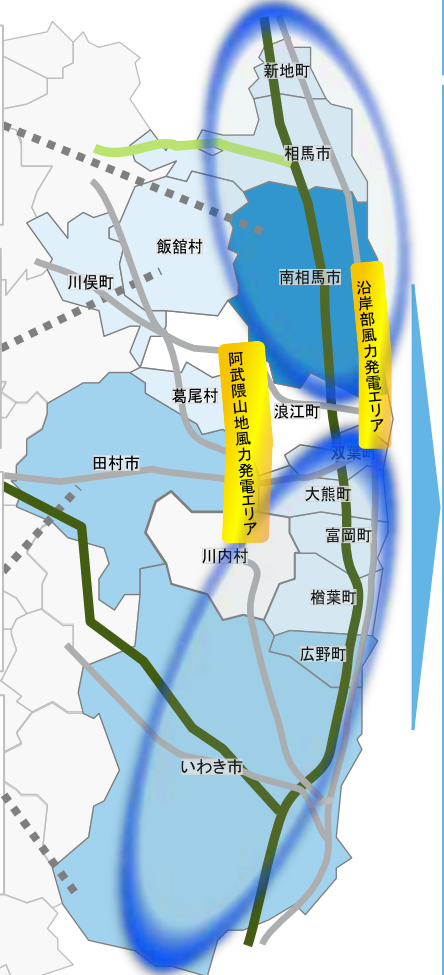
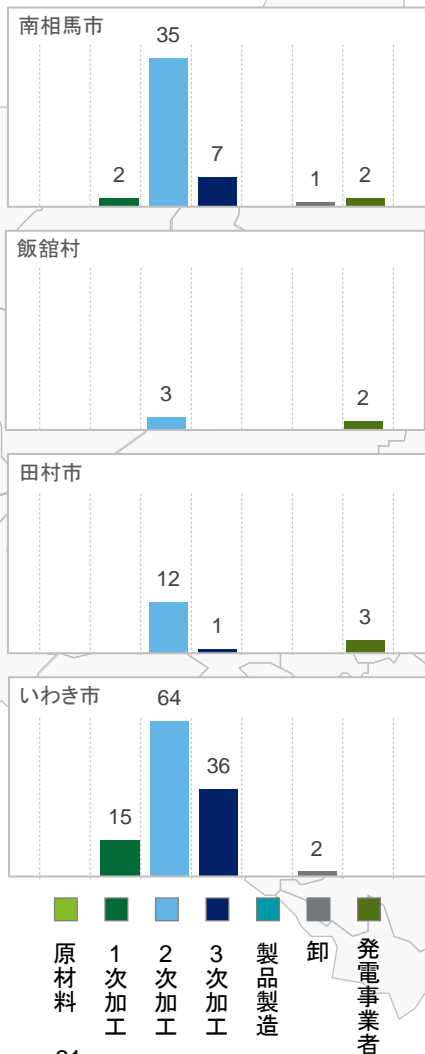
製品製造の流れ

再生可能エネルギー

部品の製造までの企業数が確保されており、部品製造を強みにした産業集積が形成できる可能性がある

再生可能エネルギー業界における各市町村の特徴(仮説)

主な市町村別企業分布(社数)



浜通り地域の地図表示(凡例)

- :5つ以上のフェーズに企業あり
- :3~4フェーズに企業あり
- :1~2フェーズに企業あり
- :該当企業なし

主要道路(凡例)

- :高速道路
- :自動車専用道路
- :国道(国管理・県管理)

各市町村の特徴

- **新地町**
✓ 2次加工(鉄鋼、非鉄金属)の企業が立地
- **相馬市**
✓ 2次加工(鉄鋼)の企業が多く、3次加工(エネルギー発生装置、変換装置、配管装置)の企業も立地
- **南相馬市**
✓ 2次加工(鉄鋼、非鉄金属)、3次加工(変換装置)の企業が多く、発電事業者も立地
- **飯館村**
✓ 2次加工(鉄鋼)、発電事業者が立地
- **川俣町**
✓ 2次加工(非鉄金属)、3次加工(変換装置)の企業が立地
- **葛尾村**
✓ 3次加工(変換装置)の企業が立地
- **田村市**
✓ 2次加工(非金属、非鉄金属)の企業が多く、発電事業者も立地
- **双葉町**
✓ 1次加工(金属)、2次加工(鉄鋼)の企業が立地
- **大熊町**
✓ 1次加工(化学)、2次加工(鉄鋼)の企業が立地
- **富岡町**
✓ 1次加工(化学)、2次加工(非鉄金属)の企業が立地
- **楡葉町**
✓ 1次加工(鉄鋼、電子)の企業が立地
- **広野町**
✓ 1次加工(化学)、3次加工(変換装置)の企業が立地
- **いわき市**
✓ 原材料以外に企業が立地し、特に2次加工(鉄鋼)の企業が多い

市町村群の役割(可能性ベース)

2次加工と3次加工に強みを持つサプライチェーン構築の可能性あり

- ✓ 製品製造の企業数がないが、2次加工(鉄鋼、非鉄金属)及び部品製造(変換装置)の製造に強みを持つサプライチェーン構築の可能性があるのでないか
(南相馬市を中心とし、相馬市と新地町と連携した集積、いわき市を中心とした広野町、楡葉町、富岡町、大熊町、双葉町と連携した集積に可能性があるのでないか)

※各市町村に企業は立地しているため、浜通り地域全体での2次加工と3次加工に強みを持つサプライチェーン構築の可能性も考えられる
※田村市については2次加工に強みを持つため、3次加工への部材供給先としても考えられる

浜通り地域での発電事業者集積の可能性あり

- ✓ 近年、南相馬市、飯館村、田村市に発電事業者が増加しており、今後、発電事業者の集積の可能性があるのでないか

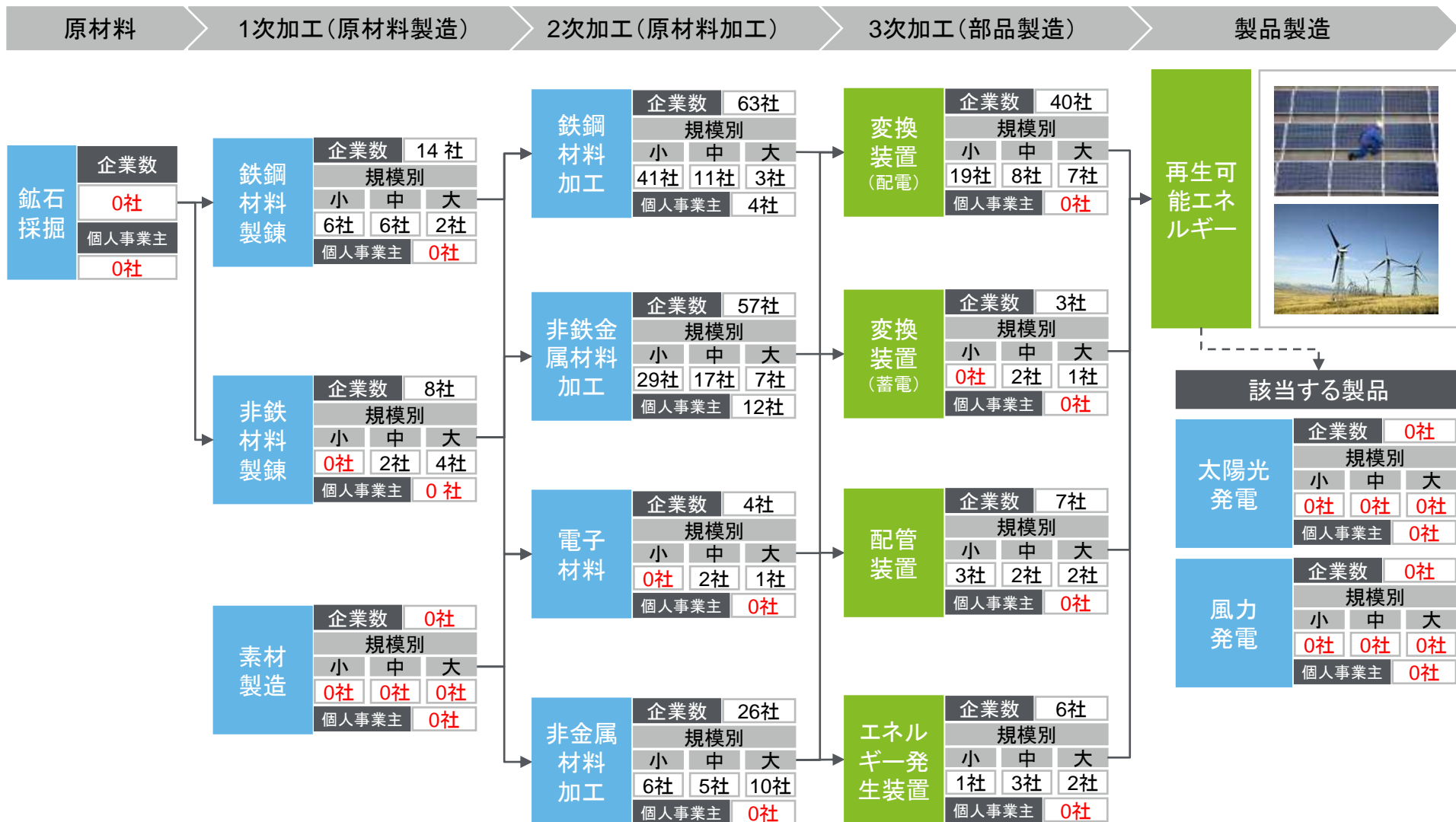
※各市町村に同一フェーズかつ同一構成要素の企業が5社以上立地している場合に「各市町村の特徴」にて「企業が多い」と記載
※主要道路に関しては、道路整備における事業見通しが完了した想定で記載

製品製造の企業数は存在しないが、原材料加工から部品製造については可能性がある企業が存在する

再生可能エネルギー業界のサプライチェーン全体像(従業員規模別)

規模別

小:従業員20人以下 中:従業員21人~100人 大:従業員101人以上
 ※従業員データが確認できない企業は規模別の集計に含まない



該当する製品

企業数	0社
規模別	
小	0社
中	0社
大	0社
個人事業主	0社

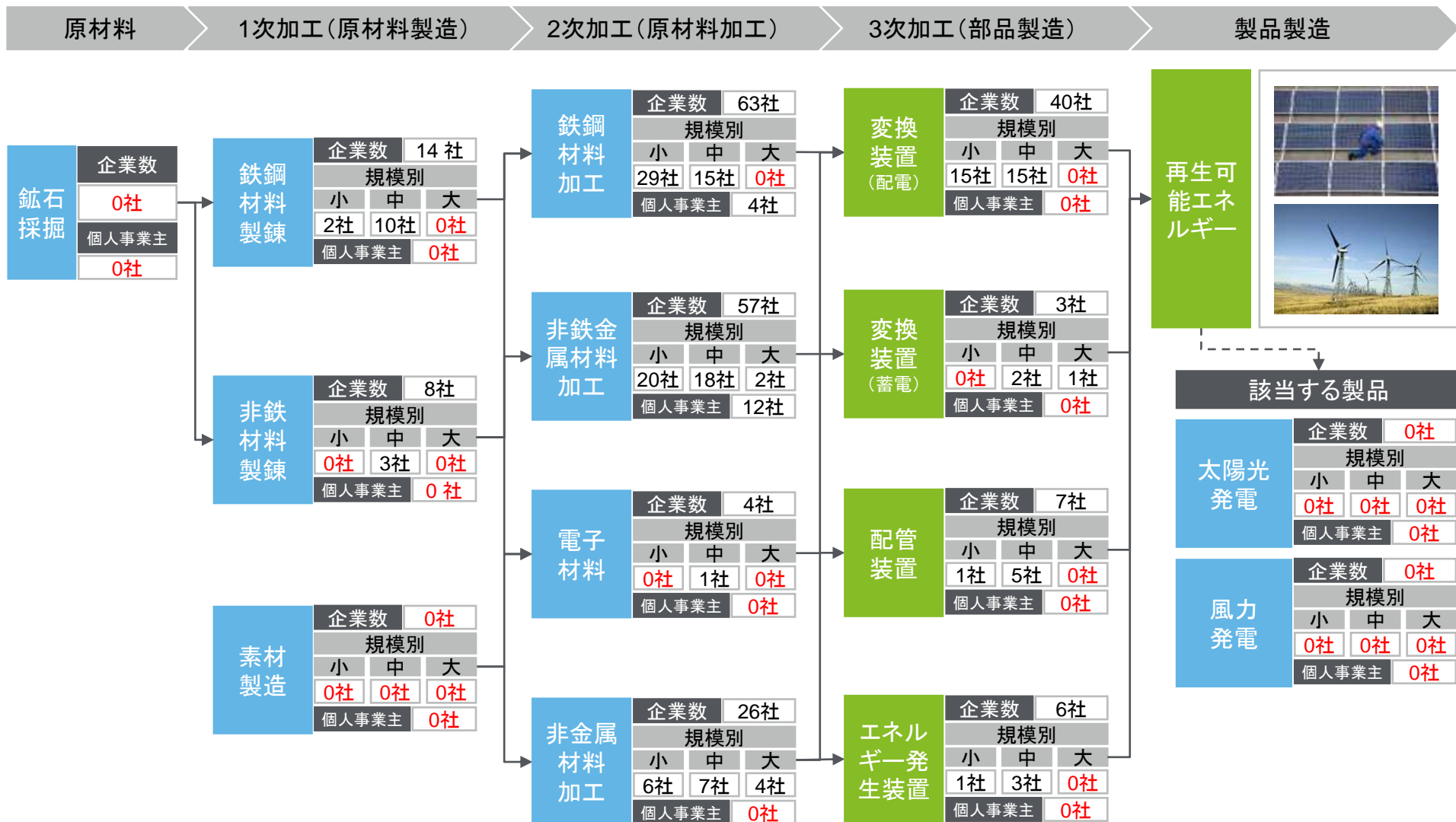
企業数	0社
規模別	
小	0社
中	0社
大	0社
個人事業主	0社

製品製造の企業数は存在しないが、原材料加工から部品製造については可能性がある企業が存在する

再生可能エネルギー業界のサプライチェーン全体像(売上高規模別)

規模別

小:売上高1億円以下 中:売上高1億円～100億円 大:売上高100億超
 ※売上高データが確認できない企業は規模別の集計に含まない



自動車業界と同様に2次加工から部品製造を実施している企業が存在する

再生可能エネルギー業界における各市町村の企業分布

枠内・・・法人企業数

※個人事業主が存在する場合は個人事業主数を記載

青字・・・市町村における最大値

赤字・・・市町村における最小値

対象市町村	サプライチェーン					サプライチェーン以外の関与	
	原材料	1次加工 原材料製造	2次加工 原材料加工	3次加工 部品製造	製品製造	電力卸	発電事業者
新地町	0社	0社	5社	0社	0社	0社	0社
相馬市	0社	0社	13社	5社	0社	0社	0社
南相馬市	0社	2社	35社(13社)	7社	0社	1社	2社
飯舘村	0社	0社	3社(2社)	0社	0社	0社	2社
川俣町	0社	0社	4社	4社	0社	0社	0社
浪江町	0社	0社	0社	0社	0社	0社	0社
葛尾村	0社	0社	0社(1社)	1社	0社	0社	0社
田村市	0社	0社	12社	1社	0社	0社	3社
双葉町	0社	1社	1社	0社	0社	0社	0社
大熊町	0社	1社	1社	0社	0社	0社	0社
富岡町	0社	1社	4社	0社	0社	0社	0社
檜葉町	0社	0社	5社	0社	0社	0社	0社
広野町	0社	2社	3社	2社	0社	0社	0社
川内村	0社	0社	0社	0社	0社	0社	0社
いわき市	0社	15社	64社	36社	0社	2社	0社

(ご参考)再生可能エネルギー業界のフェーズに関する説明

対象フェーズ	フェーズに該当する企業の定義	本資料におけるサプライチェーンの定義			
製品製造	✓ 太陽光パネル及び風力発電設備等の製造、 施工に該当する企業	再生可能エネルギー			
3次加工 部品製造	✓ 再生可能エネルギー関連部品製造に該当する企業 (再生可能エネルギーの構成要素「変換装置(配電)」「変換装置(蓄電)」「配電装置」「エネルギー発生装置」ごとに定義)	変換装置 (配電)	変換装置 (蓄電)	配管装置	エネルギー発生装置
2次加工 原材料加工	✓ 再生可能エネルギー設備製造の為に必要な部材を加工する企業 (鉄鋼材料を風力発電用への加工等)	鉄鋼材料加工	非鉄金属材料加工	電子材料	非金属材料加工
1次加工 原材料製造	✓ 原材料を元に材料の複合や強化を実施する企業 (鉄を加工した鉄鋼材料等)	鉄鋼材料製錬	非鉄材料製錬	素材製造	
原材料	✓ 原材料自体を採掘する企業 (鉄鉱石等)	鉱石採掘			

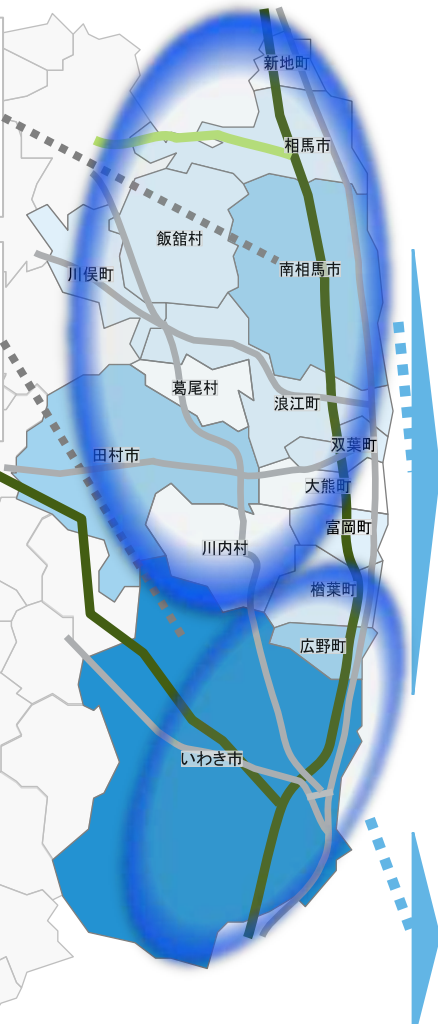
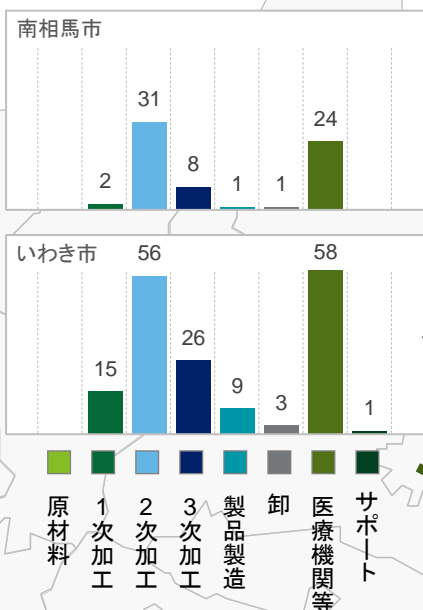
製品製造の流れ

医療機器

製品製造に該当する企業数が少ないため、部品製造までの産業集積の可能性は考えられる

医療機器業界における各市町村の特徴(仮説)

主な市町村別企業分布(社数)



浜通り地域の地図表示(凡例)

- : 7つ以上のフェーズに企業あり
- : 4~6フェーズに企業あり
- : 2~3フェーズに企業あり
- : 1つ以下のフェーズに企業あり

主要道路(凡例)

- : 高速道路
- : 自動車専用道路
- : 国道(国管理・県管理)

各市町村の特徴	市町村群の役割(可能性ベース)
<ul style="list-style-type: none"> ■ 新地町 ✓ 1次加工(鉄鋼、非鉄金属)の企業が立地 ■ 相馬市 ✓ 2次加工(鉄鋼)の企業が多く、3次加工(組立、駆動電動部品)の企業が立地 ■ 南相馬市 ✓ 2次加工(鉄鋼、非鉄金属、非金属)の企業が多く、製品製造の企業も立地 ■ 飯館村 ✓ 2次加工(鉄鋼)の企業が立地 ■ 川俣町 ✓ 2次加工(鉄鋼、非鉄金属)、3次加工(組立、駆動電動部品)の企業が立地 ■ 浪江町 ✓ 医療機関、介護施設が存在 ■ 葛尾村 ✓ 3次加工(駆動電動部品)の企業が立地 ■ 田村市 ✓ 2次加工(非鉄金属、非金属)の企業が多く、製品製造の企業も立地 ■ 双葉町 ✓ 1次加工(金属)、2次加工(鉄鋼)の企業が立地 ■ 大熊町 ✓ 製品製造(個人事業主)の企業が立地 ■ 富岡町 ✓ 2次加工(非鉄金属)の企業が立地 ■ 川内村 ✓ 医療機関、介護施設が存在 ■ 楢葉町 ✓ 2次加工(電子)、3次加工(電気電装部品)の企業が立地 ■ 広野町 ✓ 2次加工(鉄鋼、非鉄金属)の企業が立地 ■ いわき市 ✓ 原材料以外に企業が立地し、特に3次加工(駆動電動部品)の企業が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ■ サプライチェーン構築の可能性あり ✓ 南相馬市、田村市と大熊町に製品製造の企業(個人事業主含む)が確認できるが両方も医療用器具の製造であり、製品製造を含めたサプライチェーン形成の可能性は低い。部品製造までは各市町村の地理的な連携の可能性はあるため、部品製造までの産業集積の可能性はあるのではないかと (製品製造企業の外部誘致もしくは、いわき市への部品供給も可能性としてあり得る) ■ いわき市を中心とした産業集積 ✓ いわき市での産業集積をベースに部材供給や部品製造を広野町と楢葉町で補う体制が構築できるのではないかと

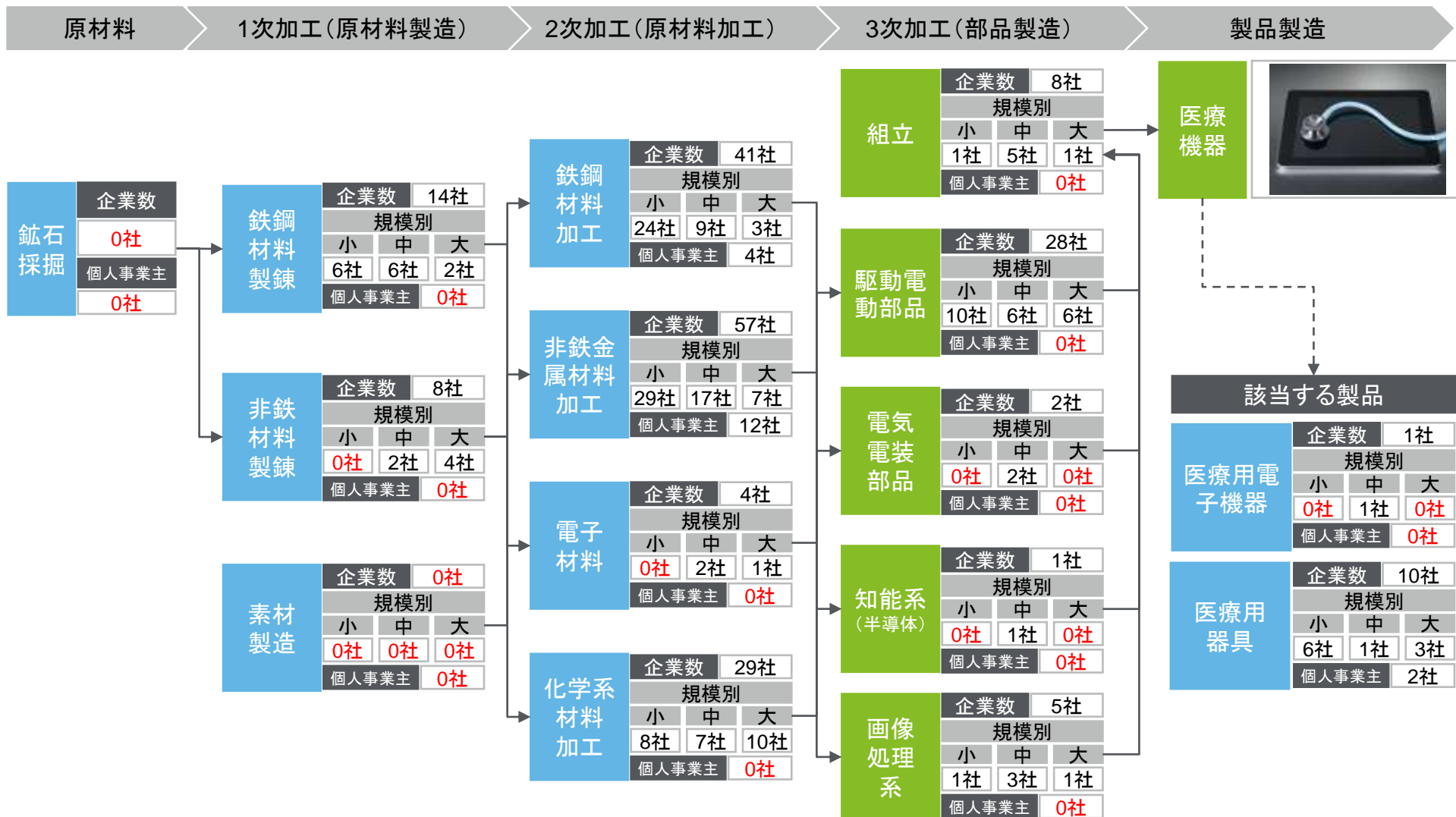
※各市町村に同一フェーズかつ同一構成要素の企業が5社以上立地している場合に「各市町村の特徴」にて「企業が多い」と記載
 ※主要道路に関しては、道路整備における事業見通しが完了した想定で記載

部品製造の可能性がある企業は存在するが、製品製造は医療用器具の企業が多く、一部の部品供給となる可能性が高い

医療機器業界のサプライチェーン全体像(従業員規模別)

規模別

小:従業員20人以下 中:従業員21人~100人 大:従業員101人以上
 ※従業員データが確認できない企業は規模別の集計に含まない

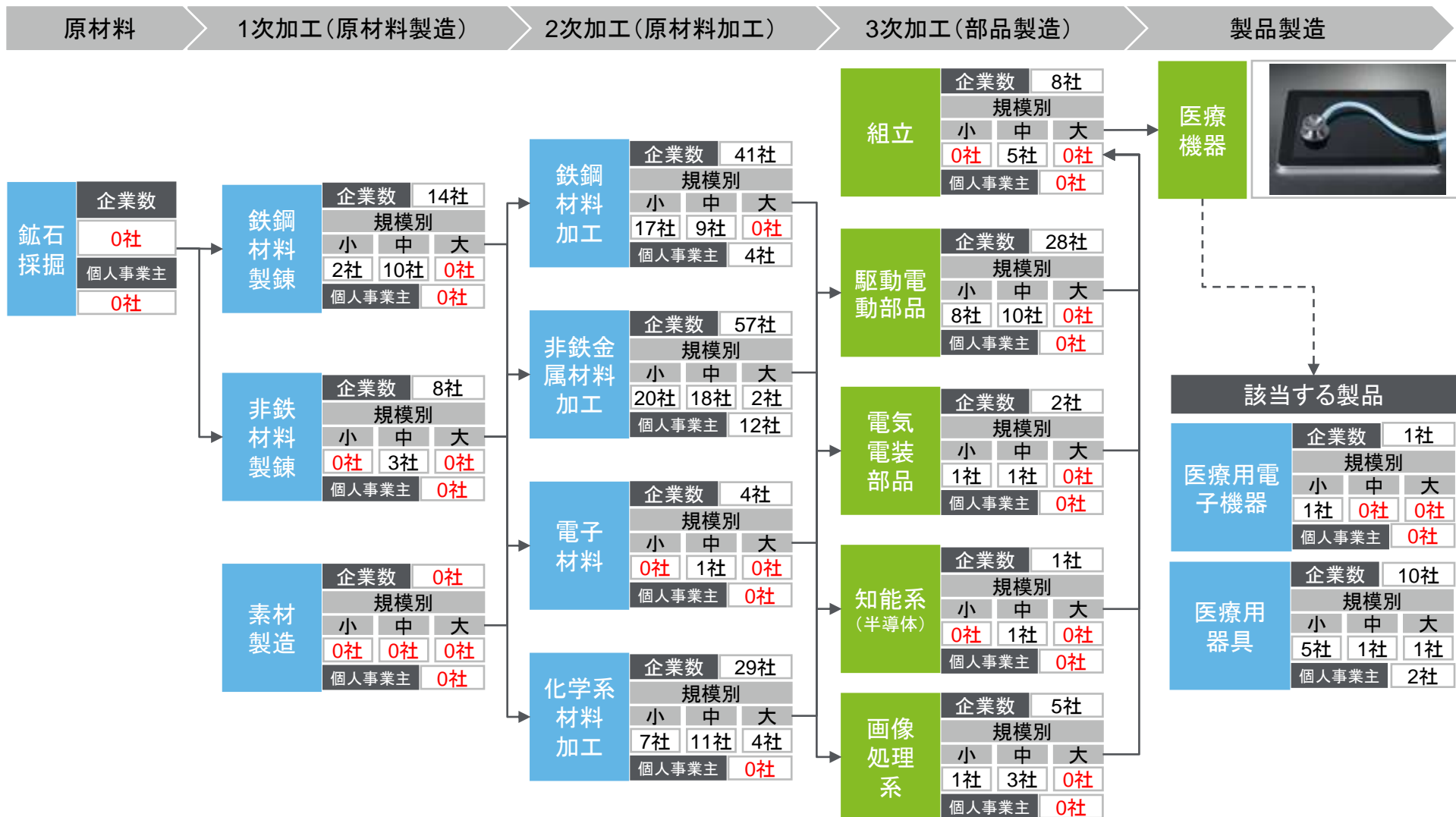


部品製造の可能性がある企業は存在するが、製品製造は医療用器具の企業が多く、一部の部品供給となる可能性が高い

医療機器業界のサプライチェーン全体像(売上高規模別)

規模別

小:売上高1億円以下 中:売上高1億円~100億円 大:売上高100億超
※売上高データが確認できない企業は規模別の集計に含まない



2次加工及び医療機関、介護施設に該当する企業数が多い

医療機器業界における各市町村の企業分布

枠内・・・法人企業数

※個人事業主が存在する場合は個人事業主数を記載

青字・・・市町村における最大値

赤字・・・市町村における最小値

対象 市町村	サプライチェーン					サプライチェーン以外の関与		
	原材料	1次加工 原材料製造	2次加工 原材料加工	3次加工 部品製造	製品製造	卸	医療機関 介護施設	医業支援
新地町	0社	0社	4社	0社	0社	0社	0社	0社
相馬市	0社	0社	9社	2社	0社	0社	1社	0社
南相馬市	0社	2社	31社(13社)	8社	1社(1社)	1社	24社(15社)	0社
飯舘村	0社	0社	2社(2社)	0社	0社	0社	3社(1社)	0社
川俣町	0社	0社	4社	3社	0社	0社	4社	0社
浪江町	0社	0社	0社	0社	0社	1社	1社(1社)	0社
葛尾村	0社	0社	0社(1社)	1社	0社	0社	0社	0社
田村市	0社	0社	13社	1社	1社	0社	1社(1社)	0社
双葉町	0社	1社	1社	0社	0社	0社	3社(2社)	0社
大熊町	0社	1社	0社	0社	0社(1社)	0社	0社(3社)	0社
富岡町	0社	1社	4社	0社	0社	0社	4社(4社)	0社
檜葉町	0社	0社	4社	1社	0社	0社	4社(2社)	0社
広野町	0社	2社	3社	2社	0社	0社	1社(1社)	0社
川内村	0社	0社	0社	0社	0社	0社	1社	0社
いわき市	0社	15社	56社	26社	9社	3社	58社	1社

(ご参考)医療機器業界のフェーズに関する説明

対象フェーズ	フェーズに該当する企業の定義	本資料におけるサプライチェーンの定義				
製品製造	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 心電計、超音波診断装置、MRI、CT、検体検査用機器等、治療、検査の際に利用する電子機器を製造する企業 ✓ カテーテル、注射器等のディスプレイ医療器具、手術用針、メス等の治療用材料、人工歯、関節等の生体補助器具等の医療器具を製造する企業 	医療機器				
3次加工 部品製造	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 医療機器関連部品製造に該当する企業 (医療機器の構成要素「組立」「駆動電動部品」「電気電装部品」「知能系(半導体)」「画像処理系」ごとに定義) 	組立	駆動電動部品	電気電装部品	知能系(半導体)	画像処理系
2次加工 原材料加工	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 医療機器製造の為に必要な部材を加工する企業 (鉄鋼材料を医療機器用への加工等) 	鉄鋼材料加工	非鉄金属材料加工	電子材料	化学系材料加工	
1次加工 原材料製造	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 原材料を元に材料の複合や強化を実施する企業 (鉄を加工した鉄鋼材料等) 	鉄鋼材料製錬	非鉄材料製錬	素材製造		
原材料	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 原材料自体を採掘する企業 (鉄鉱石等) 	鉱石採掘				

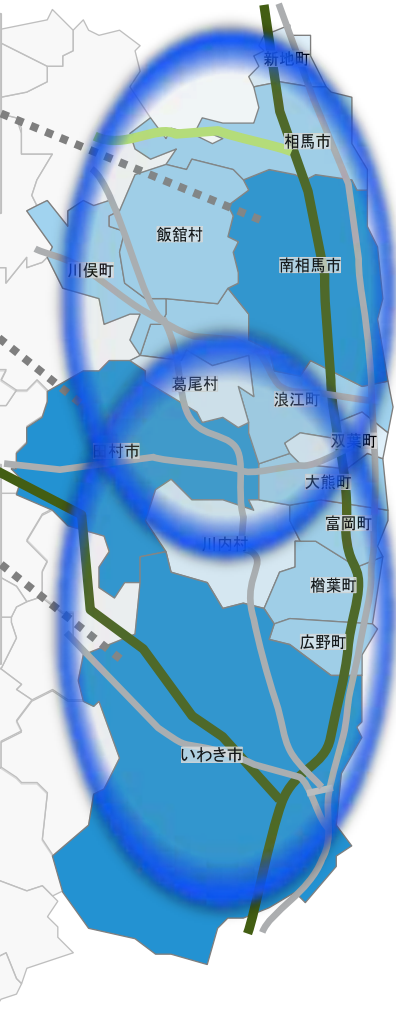
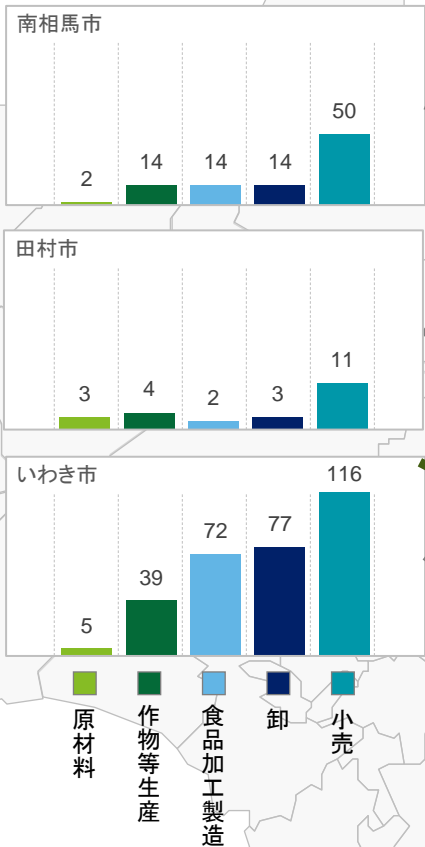
製品製造の流れ

食品

各市町村に作物生産及び食品加工の企業(個人事業主含む)が存在し、浜通り地域全体での産業集積の可能性あり

食品業界における各市町村の特徴(仮説)

主な市町村別企業分布(社数)



浜通り地域の地図表示(凡例) 主要道路(凡例)

- :5フェーズに企業あり
- :3~4フェーズに企業あり
- :1~2フェーズに企業あり
- :該当企業なし
- :高速道路
- :自動車専用道路
- :国道(国管理・県管理)

各市町村の特徴	市町村群の役割 (可能性ベース)
<ul style="list-style-type: none"> ■ 新地町 ✓ 作物等生産(農作物)の企業が立地 ■ 相馬市 ✓ 作物等生産(農作物)、食品加工物製造(水産加工)の企業が多い ■ 南相馬市 ✓ 作物等生産(農作物)、食品加工物製造(菓子)の企業が多く、食品加工製造(漬物等)の企業も立地 ■ 飯館村 ✓ 作物等生産(農作物、畜産)の企業が立地 ■ 川俣町 ✓ 作物等生産(畜産)、食品加工製造(製パン)の企業が立地 ■ 浪江町 ✓ 作物等生産(農作物)、食品加工製造(酒類)の企業が立地 ■ 葛尾村 ✓ 作物等生産(農作物、畜産)の企業が立地 ■ 田村市 ✓ 原材料(肥料)、作物等生産(農作物、畜産)の企業が立地 ■ 双葉町 ✓ 食品加工製造(菓子)の企業が立地 ■ 大熊町 ✓ 作物等生産(水産、畜産)の企業が立地 ■ 富岡町 ✓ 作物等生産(農作物、畜産)の企業が立地 ■ 楢葉町 ✓ 作物等生産(農作物、水産)の企業が立地 ■ 広野町 ✓ 作物等生産(農作物)の企業が立地 ■ 川内村 ✓ 作物等生産(農作物)の企業が立地 ■ いわき市 ✓ 全てのフェーズに企業が立地し、作物等生産(農作物、水産)の企業が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 作物等生産(農作物、畜産、水産)に強みを持ち、浜通り地域全体で産業集積の可能性あり ✓ 各市町村に作物等生産の企業が存在するため、浜通り地域に集積を実現できる可能性がある(特に農作物を生産している企業が多く存在する) ■ 浜通り地域でのサプライチェーン構築の可能性あり ✓ 各市町村に原材料から小売まで、企業が存在するため、浜通り地域全体でサプライチェーン構築の可能性があるのではないか(南相馬市といわき市を食品加工及び、消費地(小売)の中心地と位置づけられるのではないか)

※各市町村に同一フェーズかつ同一構成要素の企業が5社以上立地している場合に「各市町村の特徴」にて「企業が多い」と記載
 ※主要道路に関しては、道路整備における事業見通しが完了した想定で記載

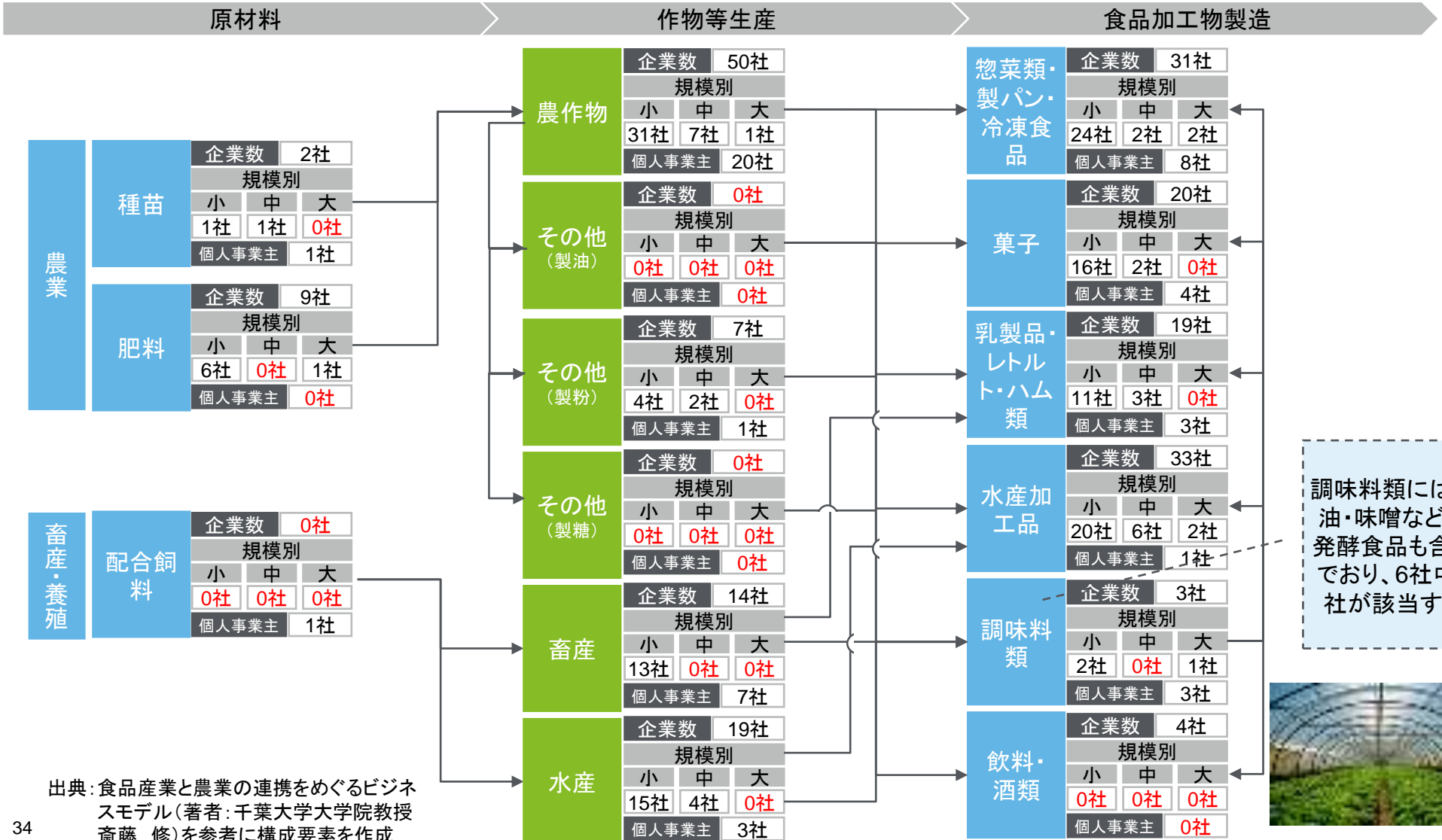
製油、製糖に関する企業が確認できなかったが、他の分類においては該当する企業が存在する

食品業界のサプライチェーン全体像(従業員規模別)

規模別

小:従業員20人以下 中:従業員21人~100人 大:従業員101人以上

※従業員データが確認できない企業は規模別の集計に含まない



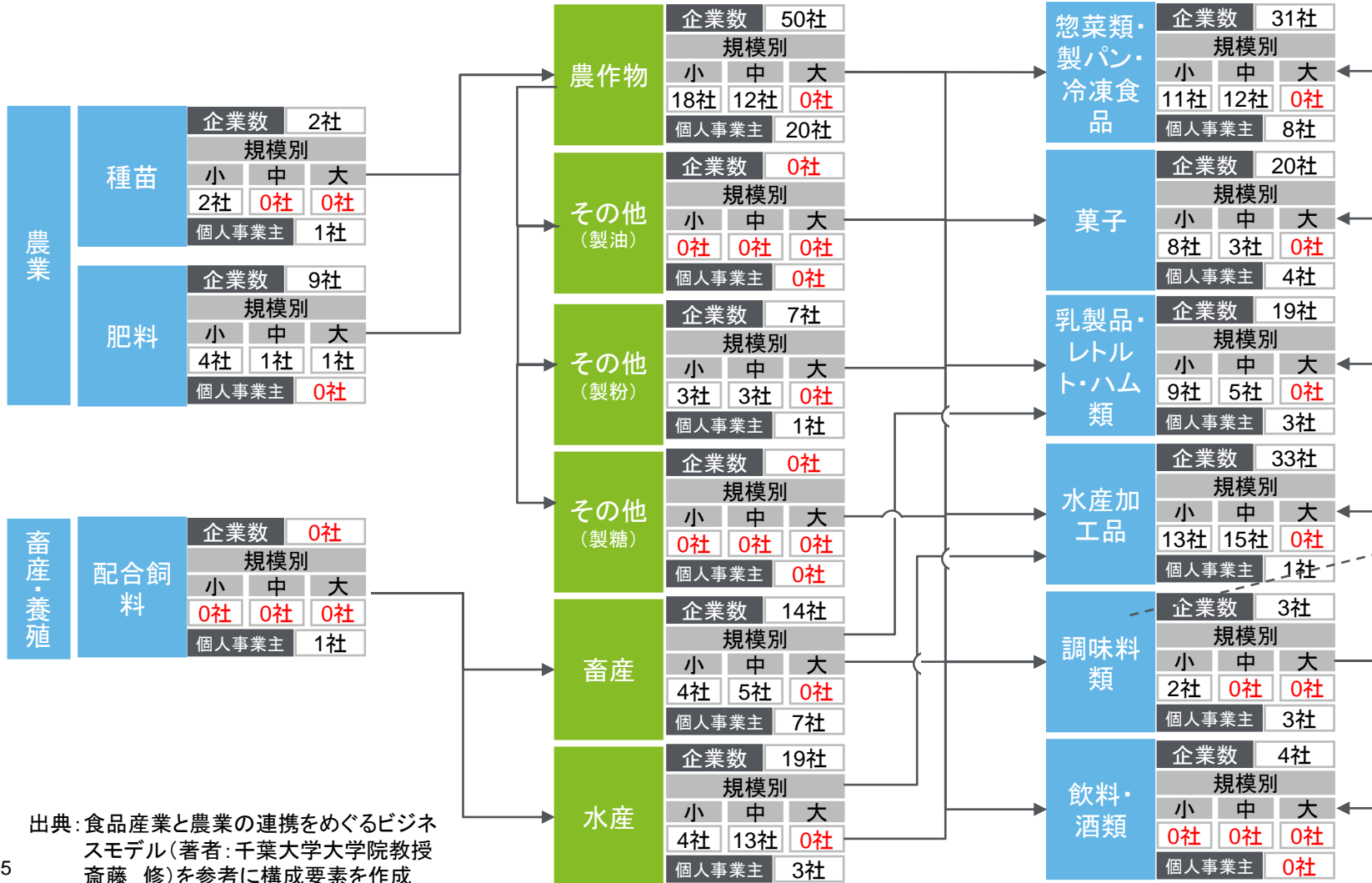
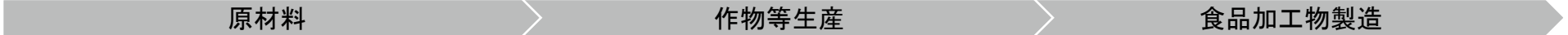
出典:食品産業と農業の連携をめぐるビジネスモデル(著者:千葉大学大学院教授 斎藤 修)を参考に構成要素を作成

製油、製糖に関する企業が確認できなかったが、他の分類においては該当する企業が存在する

食品業界のサプライチェーン全体像(売上高規模別)

規模別

小:売上高1億円以下 中:売上高1億円~100億円 大:売上高100億円超
 ※売上高データが確認できない企業は規模別の集計に含まない



調味料類には醤油・味噌などの発酵食品も含まれており、6社中5社が該当する



出典:食品産業と農業の連携をめぐるビジネスモデル(著者:千葉大学大学院教授 斎藤 修)を参考に構成要素を作成

全ての市町村において作物等生産を実施している企業(個人事業主含む)が存在する

食品業界における各市町村の企業分布

枠内・・・法人企業数

※個人事業主が存在する場合は個人事業主数を記載

青字・・・市町村における最大値

赤字・・・市町村における最小値

対象市町村	サプライチェーン			サプライチェーン以外の関与		
	原材料	作物等生産	食品加工物製造	卸	小売	サポート
新地町	0社	2社	0社	0社	2社	—
相馬市	0社	9社	9社	20社	11社	—
南相馬市	2社(1社)	14社(6社)	14社(7社)	14社(2社)	50社(97社)	—
飯舘村	0社	3社(5社)	1社(1社)	0社	2社(5社)	—
川俣町	0社	2社(1社)	5社	0社	4社(2社)	—
浪江町	0社	1社(6社)	2社(4社)	1社	5社(26社)	—
葛尾村	0社	2社(3社)	1社(2社)	0社	0社	—
田村市	3社	4社(3社)	2社	3社	11社(4社)	—
双葉町	0社	0社(3社)	1社	0社	1社(6社)	—
大熊町	0社	2社	1社	0社	7社(18社)	—
富岡町	1社	5社(1社)	0社(2社)	2社	8社(26社)	—
檜葉町	0社(1社)	3社(2社)	1社(3社)	1社(1社)	7社(10社)	—
広野町	0社	1社	1社	0社	8社(13社)	—
川内村	0社	3社(1社)	0社	0社	4社(2社)	—
いわき市	5社	39社	72社	77社	116社	—

(ご参考)食品業界のフェーズに関する説明

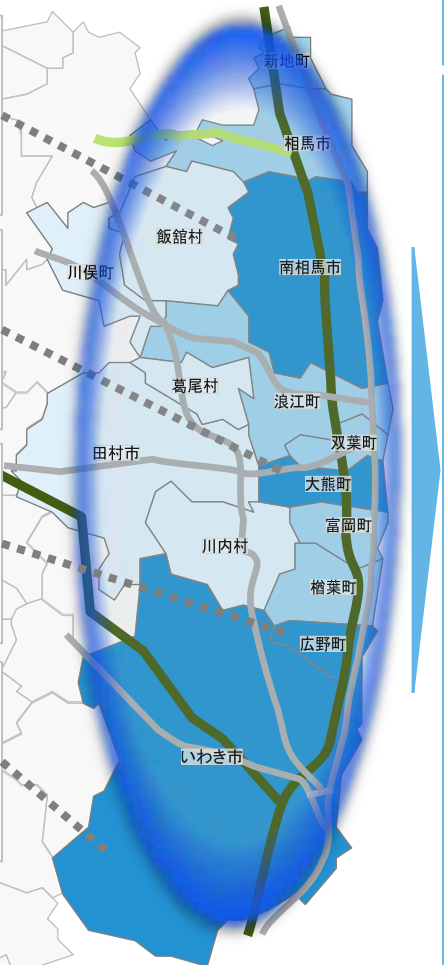
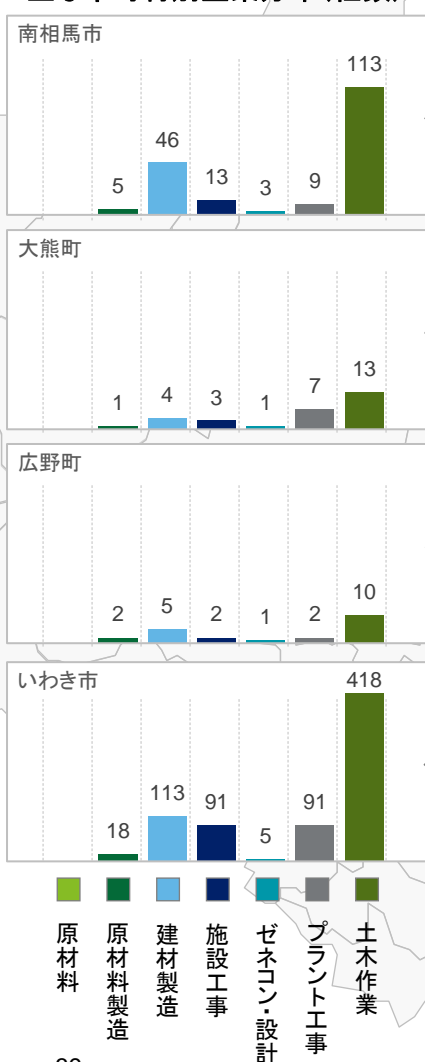
対象フェーズ	フェーズに該当する企業の定義	本資料におけるサプライチェーンの定義					
食品加工物製造	✓ ハム、ソーセージなどの加工品から菓子など食品加工物に関連する企業	惣菜類・製パン・冷凍食品	菓子	乳製品・レトルト・ハム類	水産加工品	調味料類	飲料・酒類
作物等生産	✓ 農場及び田畑による農作物の作成、家畜(食肉等)、漁業による水産物に関連する企業	農作物	その他(製油)	その他(製粉)	その他(製糖)	畜産	水産
原材料	✓ 農作物のための肥料及び、種苗や、家畜の飼育の為の飼料に関する企業	種苗	肥料	配合飼料			

廢炉(建設)

浜通り地域全体で土木作業に関する企業数が多く、廃炉作業への関与はどの市町村でも関与の可能性が高い

廃炉(建設)業界における各市町村の特徴(仮説)

主な市町村別企業分布(社数)



浜通り地域の地図表示(凡例) 主要道路(凡例)

- :6つ以上のフェーズに企業あり
- :4~5フェーズに企業あり
- :1~3フェーズに企業あり
- :該当企業なし
- :高速道路
- :自動車専用道路
- :国道(国管理・県管理)

各市町村の特徴

- **新地町**
✓ 建材製造(建材(金属))の企業が立地し、土木作業の企業が多い
- **相馬市**
✓ 建材製造(建材(金属、樹脂、窯業))の企業が立地し、施設工事(貯蔵・配管系)の企業が多い
- **南相馬市**
✓ 原材料を除く全てのフェーズに企業が立地し、特に土木作業の企業が多い
- **飯館村、川俣町、浪江町**
✓ 土木作業の企業が多い
- **葛尾村**
✓ 土木作業の企業が立地
- **田村市**
✓ 建材製造(建材(金属))、施設工事(貯蔵・配管系)、土木作業の企業が多い
- **双葉町**
✓ 建材製造(建材(コンクリ))の企業が立地
- **大熊町**
✓ 原材料を除く全てのフェーズに企業が立地し、特にプラント設備工事、土木作業の企業が多い
- **富岡町**
✓ 建材製造(建材(プラント))が立地し、プラント設備工事、土木作業の企業が多い
- **檜葉町**
✓ 土木作業の企業が多い
- **広野町**
✓ 建材製造(建材(金属))の企業が立地し、土木作業の企業が多い
- **川内村**
✓ 建材製造(建材(樹脂))の企業が立地し、土木作業の企業が多い
- **いわき市**
✓ 原材料を除く全てのフェーズに企業が立地し、特にプラント設備工事、土木作業の企業が多い

市町村群の役割(可能性ベース)

■ 土木作業等の企業を中心としたサプライチェーン構築の可能性あり

- ✓ 除染作業を実施すると想定される企業が浜通り地域に多数存在するため、除染技術を蓄積及び産業の集積を検討することもあり得るのではないかと
- ✓ 一方、ゼネコン等の建設作業をマネジメントする企業が少ないため、浜通り地域への誘致を目指すことも考えられる
- ✓ 特に南相馬市、いわき市には企業数が多く、南相馬市やいわき市を中心としたサプライチェーンの構築も検討できるのではないかと
- ✓ また、大熊町は企業数は少ないが原材料を除く全てのフェーズに企業が立地しており、今後の産業集積の拠点となる可能性があるのではないかと

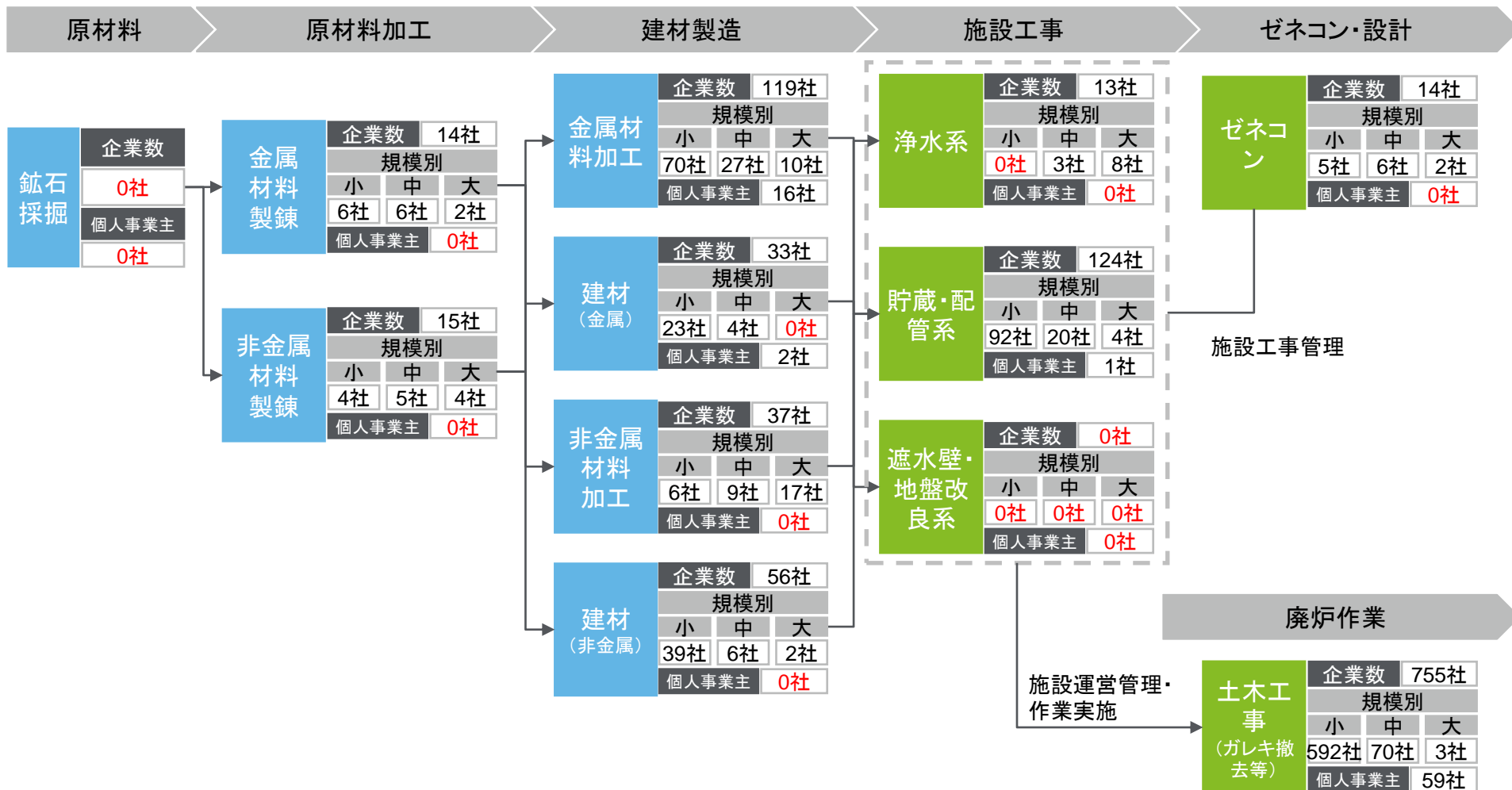
※各市町村に同一フェーズかつ同一構成要素の企業が5社以上立地している場合に「各市町村の特徴」にて「企業が多い」と記載
※主要道路に関しては、道路整備における事業見通しが完了した想定で記載

土木、建築に関連する企業は浜通り地域においても企業数が多く、廃炉作業に関する浄水や貯蔵への関与もしくは実作業に関与できる企業数は多い

廃炉(建設)業界のサプライチェーン全体像(従業員規模別)

規模別

小:従業員20人以下 中:従業員21人~100人 大:従業員101人以上
 ※従業員データが確認できない企業は規模別の集計に含まない



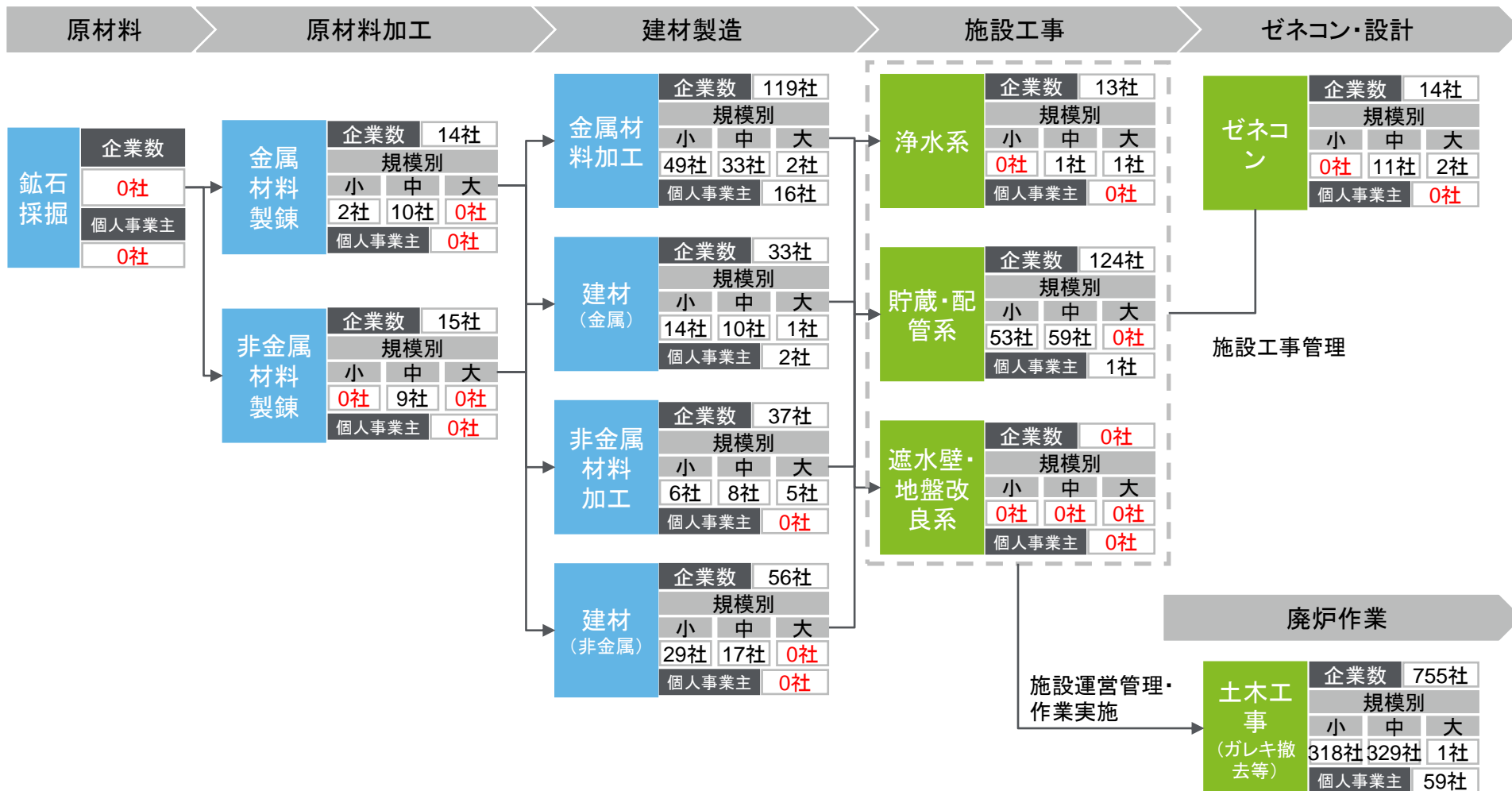
※施設工事に関与している企業が混在している可能性がある

土木、建築に関連する企業は浜通り地域においても企業数が多く、廃炉作業に関する浄水や貯蔵への関与もしくは実作業に関与できる企業数が多い

規模別

廃炉(建設)業界のサプライチェーン全体像(売上高規模別)

小:売上高1億円以下 中:売上高1億円~100億円 大:売上高100億超
※売上高データが確認できない企業は規模別の集計に含まない



※施設工事に関与している企業が混在している可能性がある

土木作業を実施している企業では廃炉作業に関与している企業が多く、浜通り地域の全ての市町村にて関与できる可能性がある

廃炉(建設)業界における各市町村の企業分布

青字 … 市町村における最大値

赤字 … 市町村における最少値

枠内 … 法人企業数

※個人事業主が存在する場合は個人事業主数を記載

対象 市町村	サプライチェーン					サプライチェーン 以外の関与	廃炉作業
	原材料	原材料 製造	建材の 製造	施設 工事	ゼネコン・ 設計	プラント 設備工事	土木作業
新地町	0社	0社	8社	5社	0社	1社	13社
相馬市	0社	0社	18社	11社	3社	5社	48社
南相馬市	0社	5社	46社(15社)	13社(1社)	3社	9社	113社(13社)
飯舘村	0社	0社	3社(2社)	0社	0社	0社	10社(2社)
川俣町	0社	0社	5社	1社	0社	0社	17社
浪江町	0社	0社	3社	1社	0社	3社	12社(14社)
葛尾村	0社	0社	0社(1社)	0社	0社	0社	1社(1社)
田村市	0社	0社	26社	8社	0社	0社	67社
双葉町	0社	1社	3社	0社	1社	1社	3社(6社)
大熊町	0社	1社	4社	3社	1社	7社	13社(3社)
富岡町	0社	1社	4社	1社	0社	9社	12社(8社)
檜葉町	0社	1社	6社	1社	0社	2社	12社(10社)
広野町	0社	2社	5社	2社	1社	2社	10社
川内村	0社	0社	1社	0社	0社	0社	6社(2社)
いわき市	0社	18社	113社	91社	5社	91社	418社

(ご参考) 廃炉(建設)業界のフェーズに関する説明

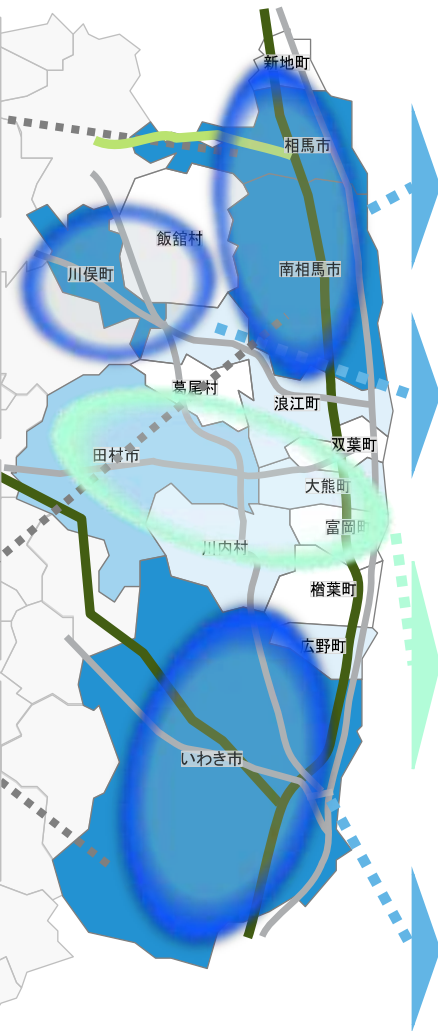
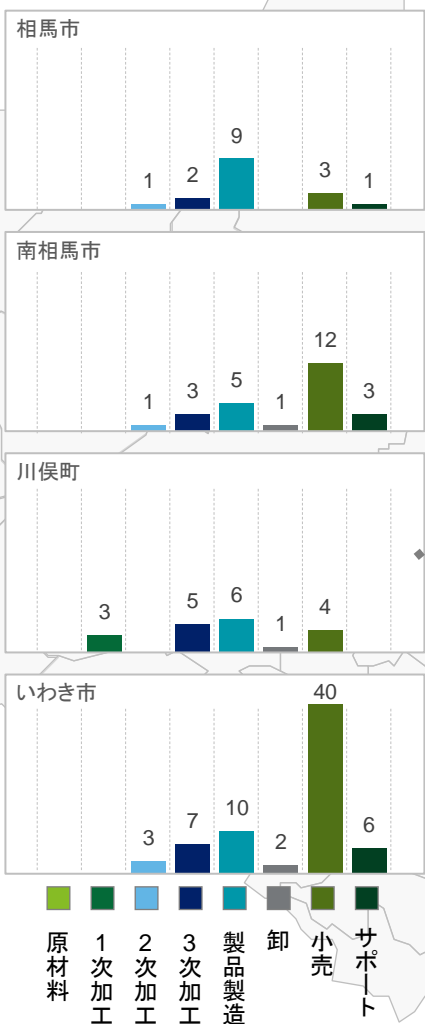
対象フェーズ	フェーズに該当する企業の定義	本資料におけるサプライチェーンの定義				
廃炉作業	土木工事	✓ ガレキ撤去、除染等を行う企業 ※施設工事に関与している企業を含む	土木工事			
	ゼネコン	✓ 元請負者として各種の土木・建築工事を一式で発注者から直接請負い、工事全体のとりまとめを行う企業	ゼネコン			
製品製造の流れ	施設工事	✓ 廃炉作業に必要な施設の工事に関わる企業 (施設工事の構成要素「浄水系」「貯蔵・配管系」「遮水壁・地盤改良系」ごとに定義)	浄水系	貯蔵・配管系	遮水壁・地盤改良系	
	建材製造	✓ 建材等製造の為に必要な部材を加工する企業	金属材料加工	非金属材料加工	建材(金属)	建材(非金属)
	原材料加工	✓ 原材料を元に材料の複合や強化を実施する企業 (鉄を加工した鉄鋼材料等)	金属材料製錬	非金属材料製錬	木材製造	
	原材料	✓ 原材料自体を採掘する企業 (鉄鉱石等)	鉱石採掘			

衣類

浜通り地域の中で川俣町、いわき市、南相馬市、相馬市に企業が多く存在し、産業集積の可能性がある

衣類業界における各市町村の特徴(仮説)

主な市町村別企業分布(社数)



浜通り地域の地図表示(凡例)

- :5つ以上のフェーズに企業あり
- :3~4フェーズに企業あり
- :1~2フェーズに企業あり
- :該当企業なし

主要道路(凡例)

- : 高速道路
- : 自動車専用道路
- : 国道(国管理・県管理)

各市町村の特徴	市町村群の役割(可能性ベース)
<p>相馬市</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 2次加工(化学)、3次加工(服飾資材)が立地し、製品製造(衣類)の企業が多い <p>南相馬市</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 2次加工(繊維)、3次加工(織布)の企業が立地し、製品製造(衣類、靴)、小売の企業が多い 	<p>南相馬市、相馬市を中心とした産業集積</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 相馬市には製品製造(衣類)、南相馬市には製品製造(衣類)、小売の企業が多く立地しており、相馬市、南相馬市を中心としたサプライチェーン構築の可能性はあるのではないか
<p>川俣町</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 1次加工(繊維)が立地し、3次加工(織布)、製品製造(衣類)の企業が多い 	<p>川俣町を中心とした産業集積</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 3次加工の企業に技術力の高い企業や製品製造(衣類)の企業が立地しているため、川俣町にサプライチェーン構築の可能性はあるのではないか
<p>浪江町</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 製品製造(衣類)の企業が立地 <p>田村市</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 3次加工(織布)の企業が立地し、製品製造(衣類)の企業が多い <p>大熊町</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ サポート(クリーニング)の企業が立地 <p>広野町</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 製品製造(衣類)の企業が立地 <p>川内村</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 製品製造(衣類)の企業が立地 	<p>製品製造としての可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 浪江町、田村市、広野町、川内村に製品製造の企業が存在しており、製品製造としての役割に可能性はあるのではないか ✓ 製品の供給先としては、小売の企業が多いいわき市や南相馬市への供給も可能ではないか
<p>いわき市</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 2次加工(化学)、3次加工(織布、革)が立地し、製品製造(衣類)、小売の企業が多い 	<p>いわき市を中心とした産業集積</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 多くのフェーズに企業が立地しているいわき市においてサプライチェーン構築の可能性はあるのではないか

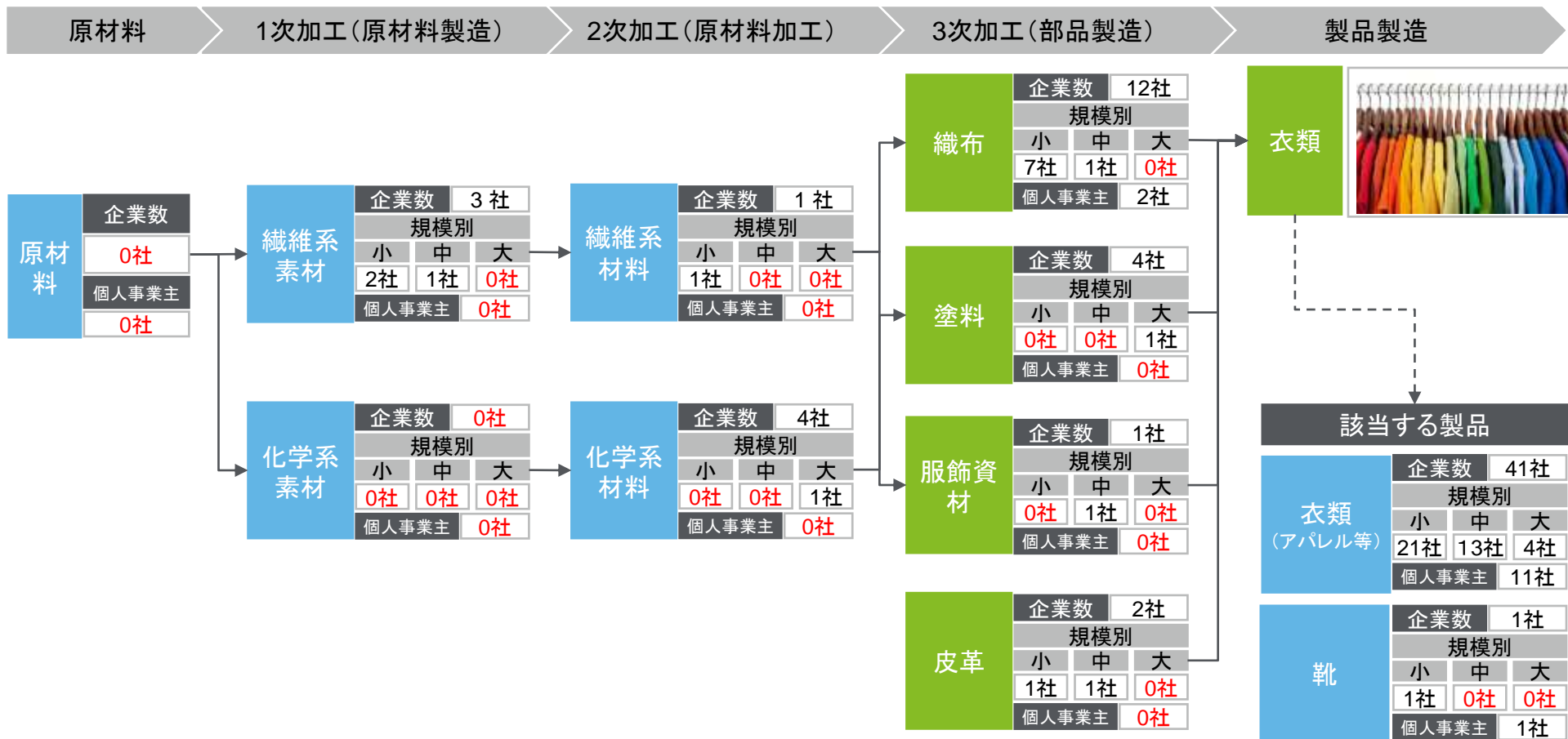
※各市町村に同一フェーズかつ同一構成要素の企業が5社以上立地している場合に「各市町村の特徴」にて「企業が多い」と記載
 ※主要道路に関しては、道路整備における事業見通しが完了した想定で記載

原材料から2次加工までの企業数は少ないが、3次加工から製品製造の企業は多い

衣類業界のサプライチェーン全体像(従業員規模別)

規模別

小:従業員20人以下 中:従業員21人~100人 大:従業員101人以上
 ※従業員データが確認できない企業は規模別の集計に含まない

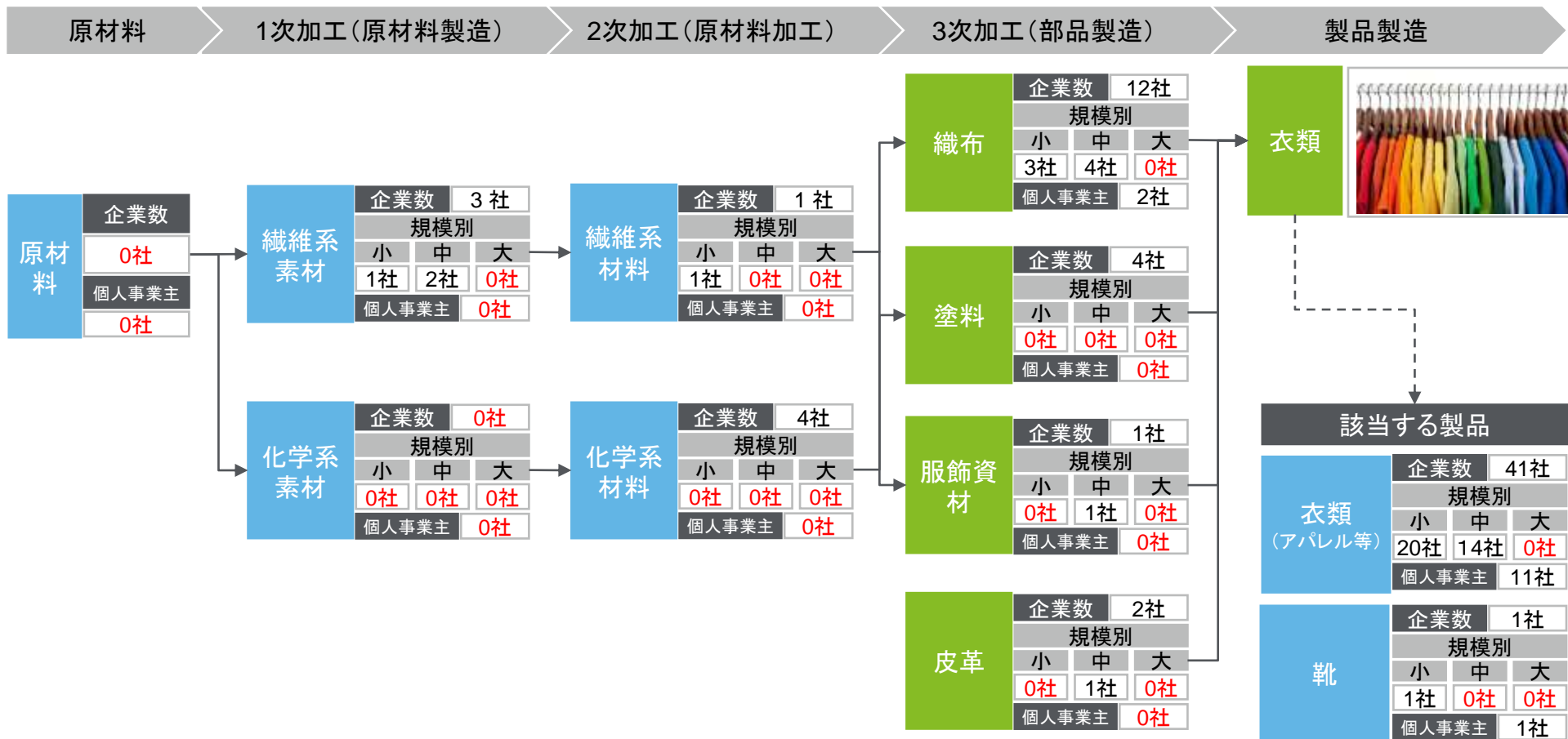


原材料から2次加工までの企業数は少ないが、3次加工から製品製造の企業は多い

衣類業界のサプライチェーン全体像(売上高規模別)

規模別

小:売上高1億円以下 中:売上高1億円~100億円 大:売上高100億超
 ※売上高データが確認できない企業は規模別の集計に含まない



川俣町及び相馬市にも多くの企業が存在し、他の産業とは異なる傾向を示している

衣類業界における各市町村の企業分布

枠内・・・法人企業数

※個人事業主が存在する場合は個人事業主数を記載

青字・・・市町村における最大値

赤字・・・市町村における最小値

対象市町村	サプライチェーン					サプライチェーン以外の関与		
	原材料	1次加工 原材料製造	2次加工 原材料加工	3次加工 部品製造	製品製造	卸	小売	サポート
新地町	0社	0社	0社	0社	0社	0社	0社	0社
相馬市	0社	0社	1社	2社	9社	0社	3社	1社
南相馬市	0社	0社	1社	3社(2社)	5社(8社)	1社	12社(6社)	3社(3社)
飯舘村	0社	0社	0社	0社	0社(2社)	0社	0社	0社
川俣町	0社	3社	0社	5社	6社	1社	4社	0社
浪江町	0社	0社	0社	0社	1社(1社)	0社	0社(1社)	0社(1社)
葛尾村	0社	0社	0社	0社	0社	0社	0社	0社
田村市	0社	0社	0社	2社	9社	1社	1社	0社
双葉町	0社	0社	0社	0社	0社	0社	0社	0社
大熊町	0社	0社	0社	0社	0社	0社	0社(1社)	1社
富岡町	0社	0社	0社	0社	0社(1社)	0社	0社	0社(1社)
檜葉町	0社	0社	0社	0社	0社	0社	0社(1社)	0社(2社)
広野町	0社	0社	0社	0社	1社	0社	0社(1社)	0社
川内村	0社	0社	0社	0社	1社	0社	1社	0社
いわき市	0社	0社	3社	7社	10社	2社	40社	6社

(ご参考)衣類業界のフェーズに関する説明

対象フェーズ	フェーズに該当する企業の定義	本資料におけるサプライチェーンの定義			
製品製造	✓ 衣類(紳士服、婦人服等)、靴の製造を行う企業群	衣類 (アパレル等)	靴		
3次加工 部品製造	✓ 衣類等の素材製造に該当する企業 (衣類の構成要素「織布」「塗料」「服飾資材」「皮革」ごとに定義)	織布	塗料	服飾資材	皮革
2次加工 原材料加工	✓ 衣類製造の為に必要な材料を加工する企業 (繊維系素材を繊維系材料への加工等)	繊維系材料	化学系材料		
1次加工 原材料製造	✓ 原材料を元に素材を製造する企業 (繊維を加工した繊維系素材等)	繊維系素材	化学系素材		
原材料	✓ 原材料自体を製造する企業 (綿花、麻、竹などの植物等の栽培)	原材料			

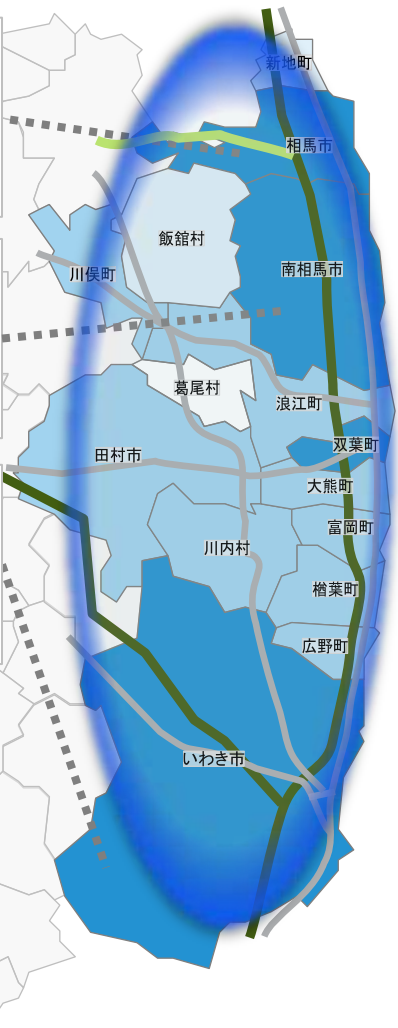
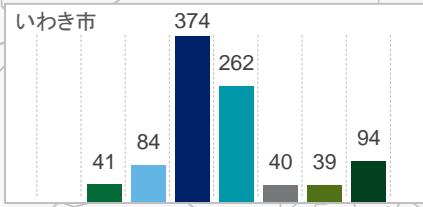
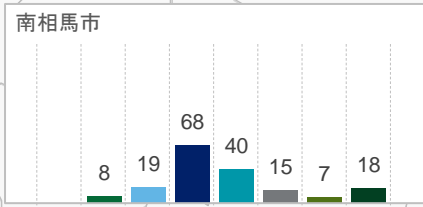
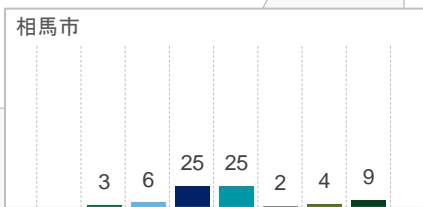
製品製造の流れ

住宅

浜通り地域全体では、住宅等建築に関する企業数が多く存在し、特にいわき市には、3次加工の企業が多く存在する

住宅業界における各市町村の特徴(仮説)

主な市町村別企業分布(社数)



浜通り地域の地図表示(凡例)

- : 7つ以上のフェーズに企業あり
- : 4~6フェーズに企業あり
- : 1~3フェーズに企業あり
- : 該当企業なし

主要道路(凡例)

- : 高速道路
- : 自動車専用道路
- : 国道(国管理・県管理)

各市町村の特徴

- **新地町**
✓ 3次加工(付帯設備)、製品製造(住宅)の企業が立地
- **相馬市**
✓ 原材料を除く全てのフェーズに企業が立地し、特に製品製造(住宅)の企業が多い
- **南相馬市**
✓ 原材料を除く全てのフェーズに企業が立地し、特に3次加工(付帯設備)の企業が多い
- **飯館村**
✓ 3次加工(付帯設備)の企業が立地
- **川俣町**
✓ 3次加工(家具)が立地し、3次加工(付帯設備)、製品製造(住宅)の企業が多い
- **浪江町**
✓ 3次加工(付帯設備)の企業が多い
- **田村市**
✓ 2次加工(建材(金属))、3次加工(付帯設備)、製品製造(住宅)の企業が多い
- **双葉町**
✓ 3次加工(付帯設備)の企業が多い
- **大熊町**
✓ 3次加工(付帯設備)の企業が多い
- **富岡町**
✓ 3次加工(付帯設備)、製品製造(住宅)の企業が立地
- **楢葉町**
✓ 2次加工(建材(非金属))、3次加工(付帯設備)、製品製造(住宅)の企業が立地
- **広野町**
✓ 2次加工(建材(金属)、建材(木材))、3次加工(家具)、製品製造(住宅)の企業が立地
- **川内村**
✓ 2次加工(建材(樹脂))、3次加工(付帯設備)、製品製造(住宅)の企業が立地
- **いわき市**
✓ 原材料を除く全てのフェーズに企業が立地し、特に3次加工(付帯設備)の企業が多い

市町村群の役割(可能性ベース)

■ 浜通り地域でのサプライチェーン構築の可能性あり

✓ いわき市、南相馬市に企業が多く存在するが、他の市町村においても、1次加工からサポートの各フェーズに企業が存在するため、浜通り地域全体でのサプライチェーン構築の可能性があるのでないか

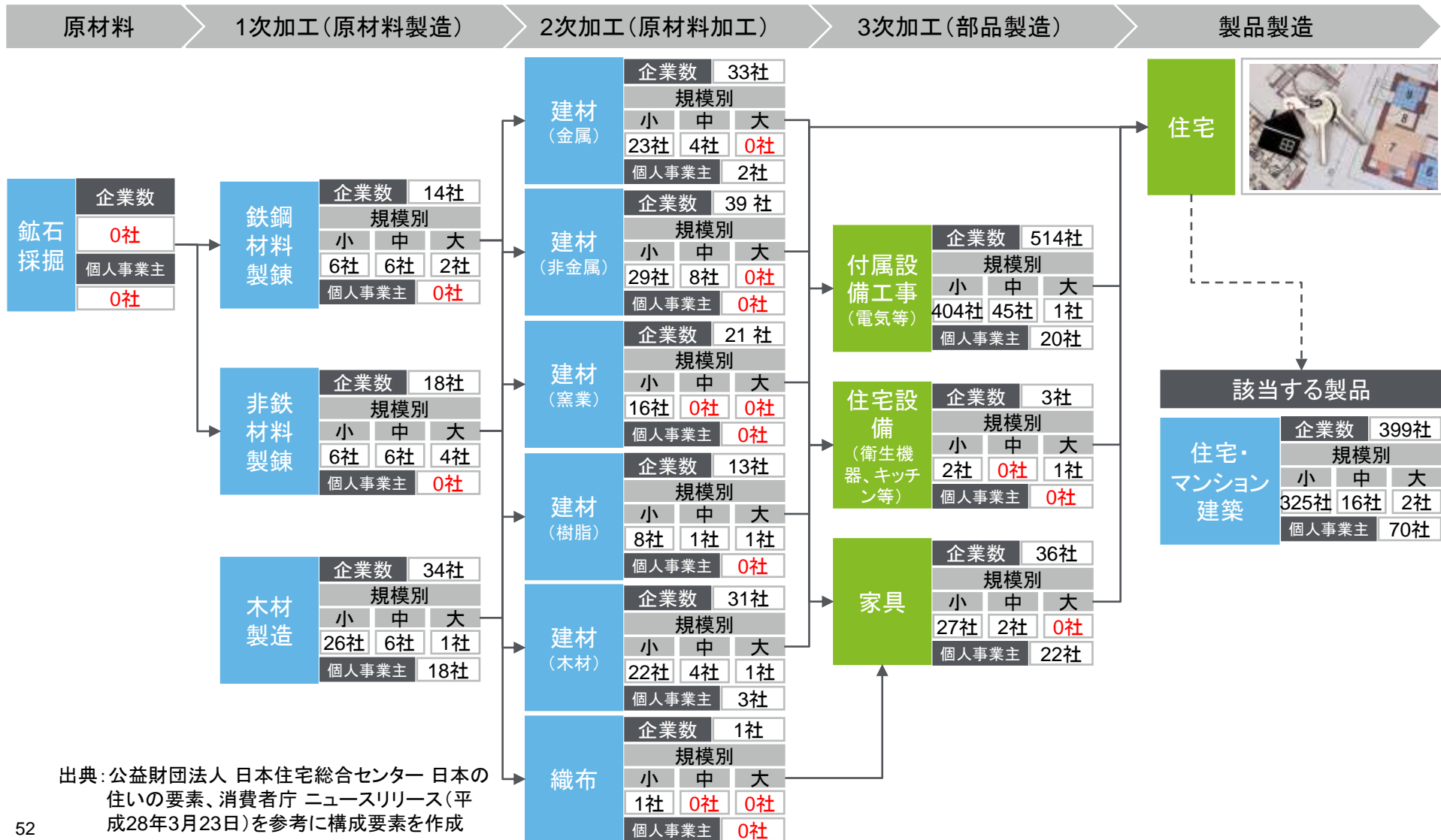
※住宅設備(衛生機器、キッチン等)の企業数が少ないため、浜通り地域への誘致を目指すことも考えられる

原材料加工から製品製造まで多くの企業が存在し、特に付属設備工事及び住宅・マンション建築に関する企業が多い

住宅業界のサプライチェーン全体像(従業員規模別)

規模別

小:従業員20人以下 中:従業員21人~100人 大:従業員101人以上
 ※従業員データが確認できない企業は規模別の集計に含まない



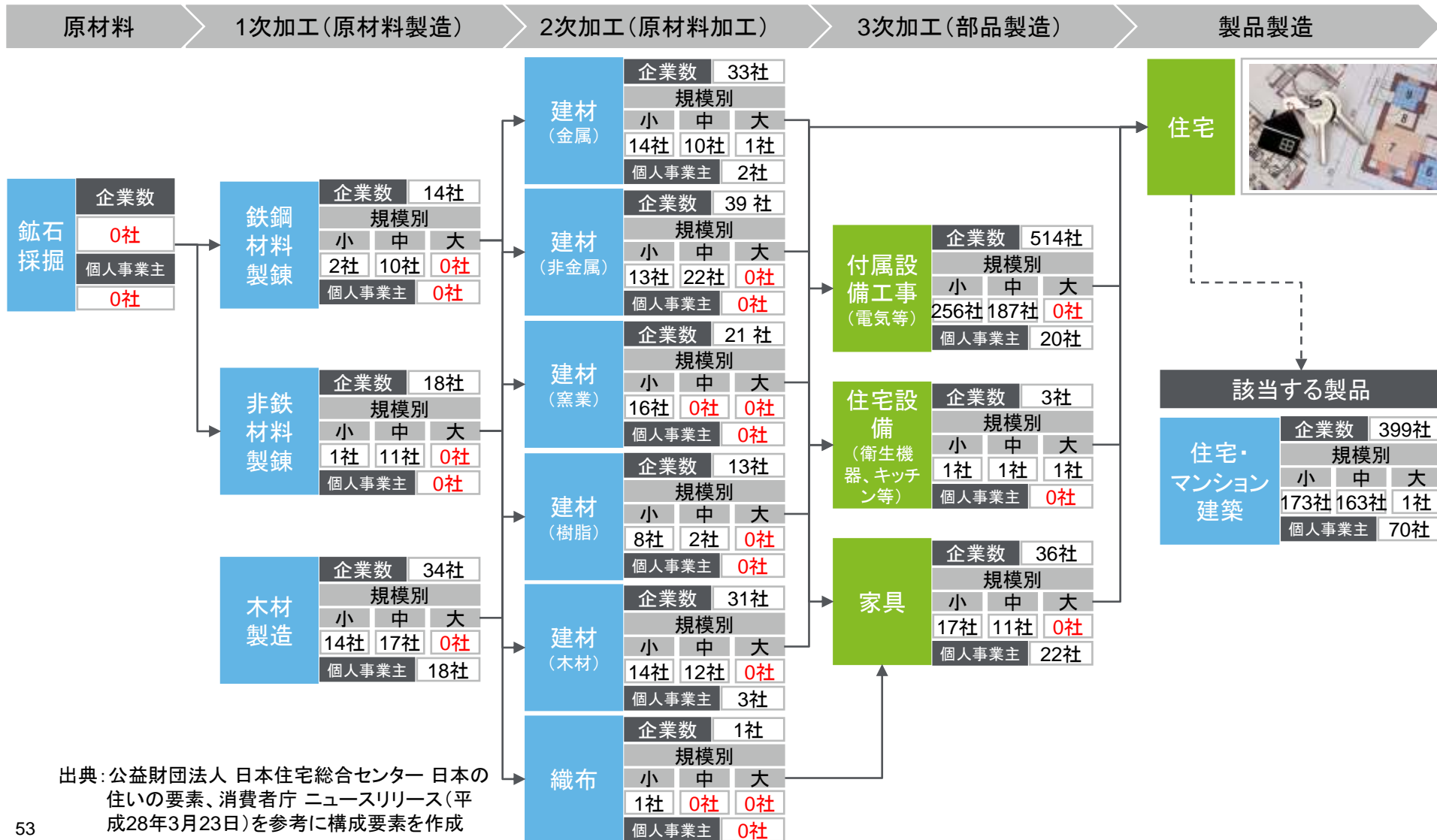
出典:公益財団法人 日本住宅総合センター 日本の住いの要素、消費者庁 ニュースリリース(平成28年3月23日)を参考に構成要素を作成

商品単価(住宅・マンション)が高いため、従業員の規模(前頁)と比較し、売上が「中規模」の企業の割合が高い

住宅業界のサプライチェーン全体像(売上高規模別)

規模別

小:売上高1億円以下 中:売上高1億円~100億円 大:売上高100億超
 ※売上高データが確認できない企業は規模別の集計に含まない



出典:公益財団法人 日本住宅総合センター 日本の住いの要素、消費者庁 ニュースリリース(平成28年3月23日)を参考に構成要素を作成

各市町村に企業が存在し、浜通り地域全体で住宅産業に関与できる可能性がある

住宅業界における各市町村の企業分布

枠内・・・法人企業数

※個人事業主が存在する場合は個人事業主数を記載

青字・・・市町村における最大値

赤字・・・市町村における最小値

対象市町村	サプライチェーン					サプライチェーン以外の関与		
	原材料	1次加工 原材料製造	2次加工 原材料加工	3次加工 部品製造	製品製造	卸	小売	サポート
新地町	0社	0社	1社	3社	4社	0社	0社	0社
相馬市	0社	3社	6社	25社	25社	2社	4社	9社
南相馬市	0社	8社(6社)	19社(4社)	68社(18社)	40社(21社)	15社(2社)	7社	18社(30社)
飯舘村	0社	2社(4社)	0社	4社(1社)	0社(5社)	0社	1社	0社(2社)
川俣町	0社	4社	1社	11社	15社	1社	0社	2社(1社)
浪江町	0社	0社(1社)	4社	18社(7社)	3社(16社)	1社(1社)	3社	6社(52社)
葛尾村	0社	0社(1社)	0社	0社	0社	0社	0社	0社(1社)
田村市	0社	2社	17社	21社(1社)	43社	0社	2社	5社
双葉町	0社	1社	2社	5社(1社)	1社(4社)	2社	1社	1社(12社)
大熊町	0社	1社	0社	6社(2社)	1社(4社)	1社	0社(1社)	2社(20社)
富岡町	0社	1社	0社	9社(5社)	2社(12社)	0社(1社)	4社(2社)	3社(62社)
檜葉町	0社	1社(2社)	1社(1社)	2社(5社)	2社(4社)	0社	1社(4社)	0社(33社)
広野町	0社	2社(1社)	2社	5社(1社)	1社(2社)	0社	0社	1社
川内村	0社	0社(3社)	1社	2社(1社)	0社(2社)	1社	0社	1社(2社)
いわき市	0社	41社	84社	374社	262社	40社	39社	94社

(ご参考)住宅業界のフェーズに関する説明

対象フェーズ	フェーズに該当する企業の定義	本資料におけるサプライチェーンの定義					
製品製造	✓ 住宅・マンション等の建築又は開発主体となる企業群	住宅・マンション建築					
3次加工 部品製造	✓ 住宅設備等の製造に該当する企業 (住宅の構成要素「付属設備工事(電気等)」「住宅設備(衛生機器、キッチン等)」「家具」ごとに定義)	付属設備工事 (電気等)		住宅設備 (衛生機器、キッチン等)		家具	
2次加工 原材料加工	✓ 住宅設備製造の為に必要な部材を加工する企業 (鉄鋼材料を住宅用建材への加工等)	建材 (金属)	建材 (非金属)	建材 (窯業)	建材 (樹脂)	建材 (ガラス)	織布
1次加工 原材料製造	✓ 原材料を元に材料の複合や強化を実施する企業 (鉄を加工した鉄鋼材料等)	鉄鋼材料製錬	非鉄材料製錬	木材製造			
原材料	✓ 原材料自体を採掘する企業 (鉄鉱石等)	鉱石採掘					

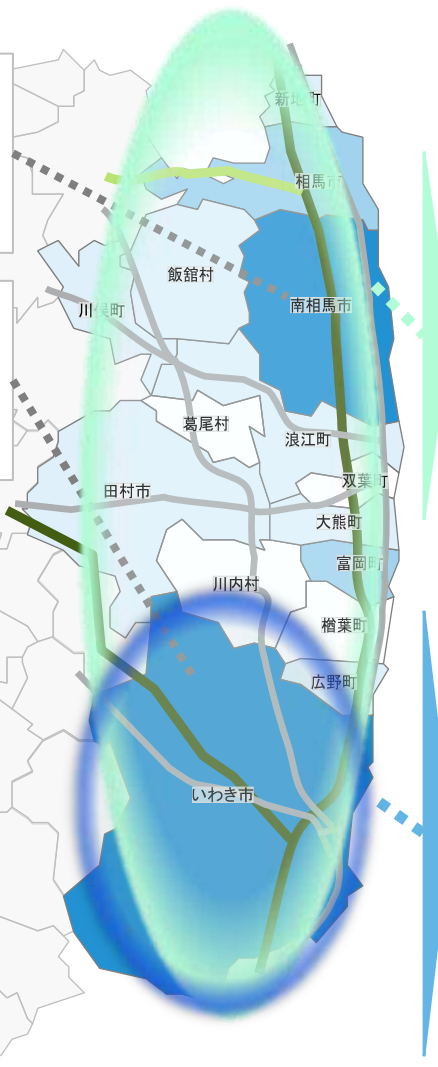
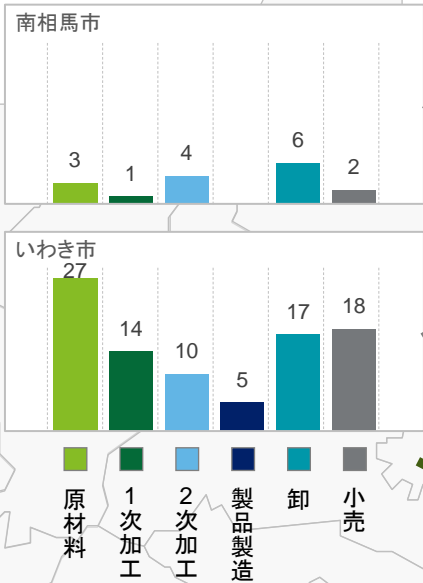
製品製造の流れ

出版

いわき市を中心とした産業集積及び企業誘致等による産業集積の可能性がある

出版業界における各市町村の特徴(仮説)

主な市町村別企業分布(社数)



浜通り地域の地図表示(凡例)

- :5つ以上のフェーズに企業あり
- :3~4フェーズに企業あり
- :1~2フェーズに企業あり
- :該当企業なし

主要道路(凡例)

- :高速道路
- :自動車専用道路
- :国道(国管理・県管理)

各市町村の特徴

- **新地町**
✓ 1次加工(化学)、出版の企業が立地し、土木作業の企業が多い
- **相馬市**
✓ 原材料(林業)、1次加工(製紙、化学)、2次加工(印刷)の企業が立地
- **南相馬市**
✓ 原材料(林業)、1次加工(製紙)、2次加工(印刷)の企業が立地
- **飯館村**
✓ 原材料(林業)の企業が立地
- **川俣町**
✓ 原材料(林業)の企業が立地
- **浪江町**
✓ 小売(書店)の企業が立地
- **田村市**
✓ 原材料(林業)の企業が立地
- **大熊町**
✓ 原材料(化学)の企業が立地
- **富岡町**
✓ 原材料(林業)、2次加工(印刷)の企業が立地
- **広野町**
✓ 原材料(化学)の企業が立地
- **いわき市**
✓ 全てのフェーズに企業が立地し、特に原材料(林業)の企業が多い

市町村群の役割(可能性ベース)

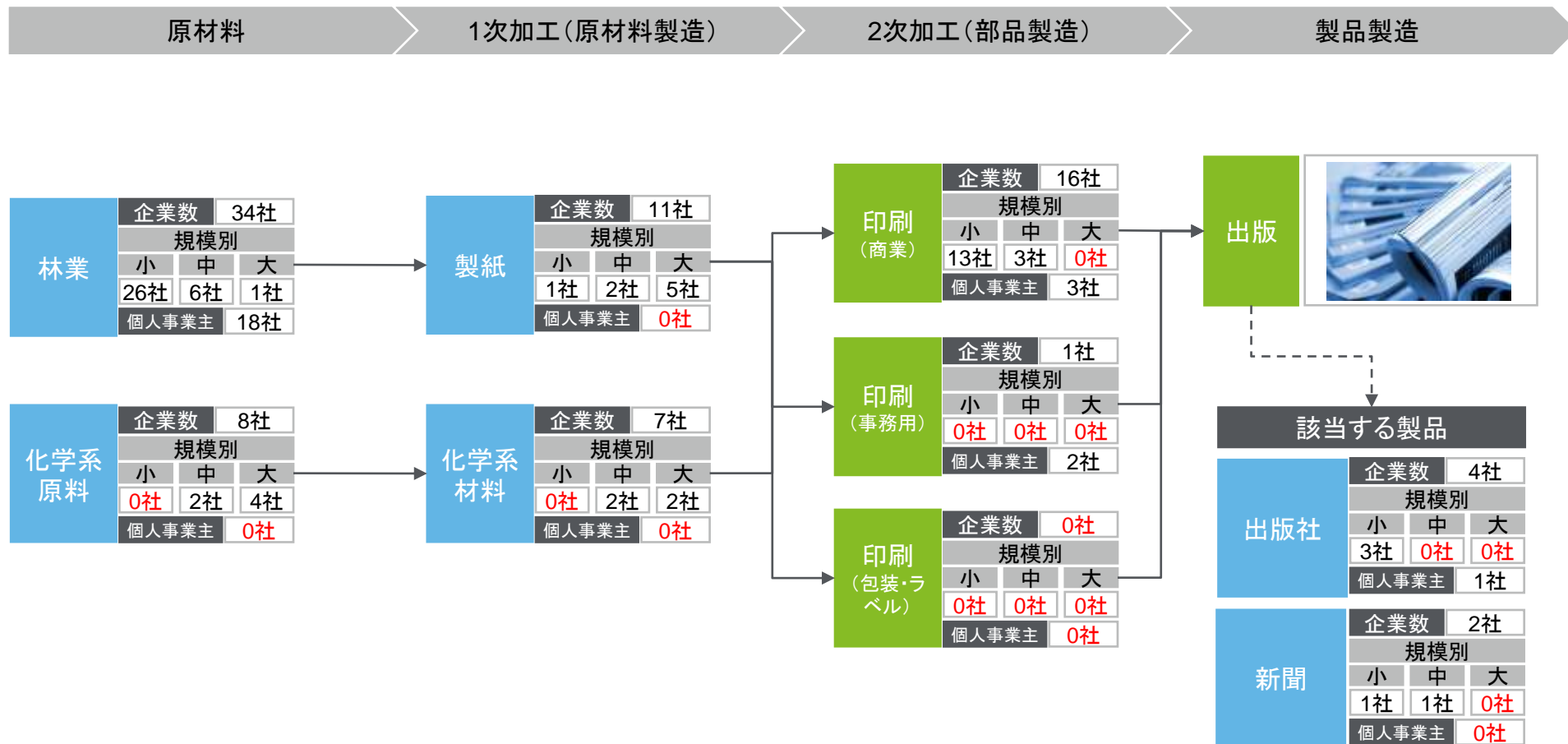
- **サプライチェーン構築の可能性あり**
✓ 南相馬市、広野町に出版社及び新聞社の企業が確認できるが、浜通り地域全体としての企業数が少なく、売上高規模も小さいため、企業誘致等を実施することで、いわき市だけでなく、浜通り地域のサプライチェーン構築の可能性はあるのではないかと
- **いわき市を中心とした産業集積**
✓ いわき市においては、出版社、新聞社及び原材料となる林業の企業が立地しているため、いわき市を中心とした産業集積の可能性はあるのではないかと

印刷(放送・ラベル)を除き、各フェーズに企業が存在し、特に林業及び印刷(商業)の企業が多く存在する

出版業界のサプライチェーン全体像(従業員規模別)

規模別

小:従業員20人以下 中:従業員21人~100人 大:従業員101人以上
 ※従業員データが確認できない企業は規模別の集計に含まない

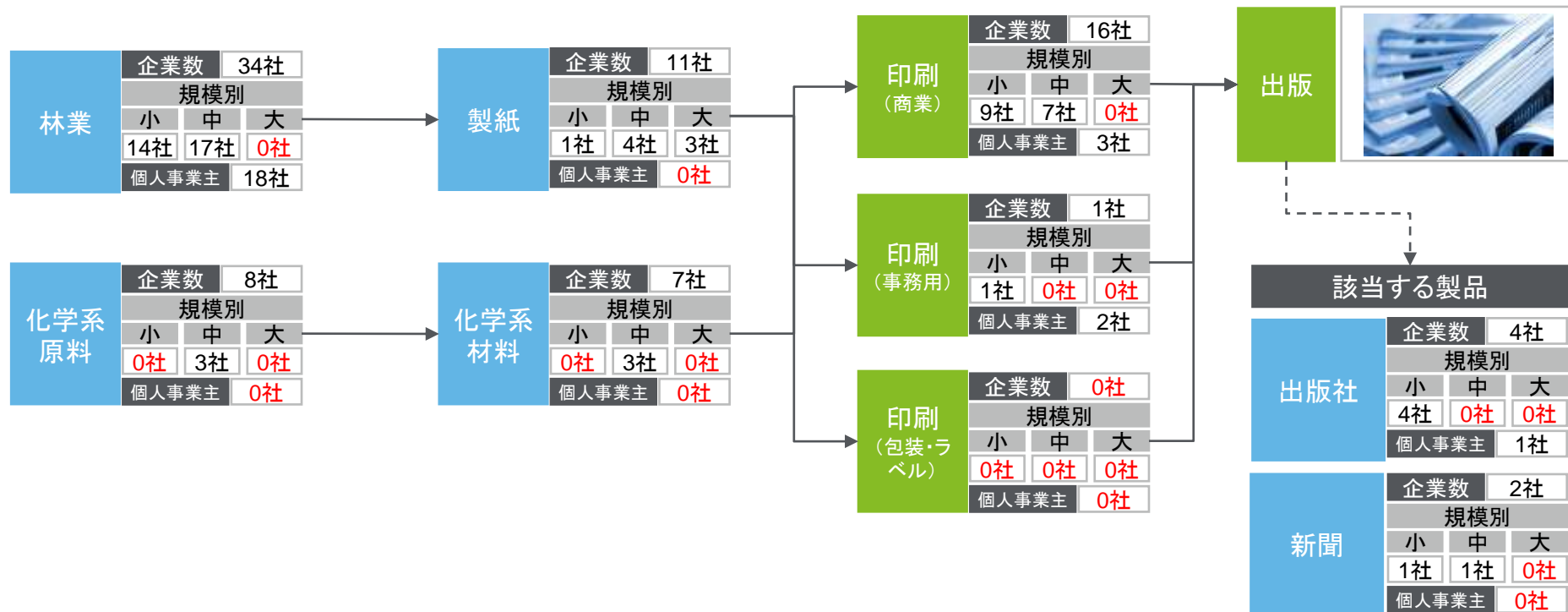


印刷(放送・ラベル)を除き、各フェーズに企業が存在し、特に林業及び印刷(商業)の企業が多く存在する

出版業界のサプライチェーン全体像(売上高規模別)

規模別

小:売上高1億円以下 中:売上高1億円~100億円 大:売上高100億超
 ※売上高データが確認できない企業は規模別の集計に含まない



いわき市に企業数が多く、全てのフェーズに一定数企業が存在する

出版業界における各市町村の企業分布

枠内・・・法人企業数

※個人事業主が存在する場合は個人事業主数を記載

青字・・・市町村における最大値

赤字・・・市町村における最小値

対象 市町村	サプライチェーン				サプライチェーン以外の関与		
	原材料	1次加工 原材料製造	2次加工 部品製造	製品製造	卸	小売	サポート
新地町	0社	1社	0社	1社	0社	0社	—
相馬市	3社	2社	2社	0社	0社	2社	—
南相馬市	3社(6社)	1社	4社(1社)	0社	6社	2社(2社)	—
飯舘村	2社(4社)	0社	0社	0社	0社	0社	—
川俣町	1社	0社	0社	0社	0社	0社	—
浪江町	0社(1社)	0社	0社(1社)	0社	0社	1社	—
葛尾村	0社(1社)	0社	0社	0社	0社	0社	—
田村市	2社	0社	0社	0社	0社	0社	—
双葉町	0社	0社	0社	0社	0社	0社	—
大熊町	1社	0社	0社	0社	0社	0社	—
富岡町	1社	0社	1社(2社)	0社	0社	1社	—
檜葉町	0社(2社)	0社	0社(1社)	0社(1社)	0社	0社(3社)	—
広野町	2社(1社)	0社	0社	0社	1社	0社	—
川内村	0社(3社)	0社	0社	0社	0社	0社	—
いわき市	27社	14社	10社	5社	17社	18社	—

(ご参考) 出版業界のフェーズに関する説明

対象フェーズ	フェーズに該当する企業の定義	本資料におけるサプライチェーンの定義		
製品製造	✓ 雑誌、フリーペーパー及び新聞の出版事業を行う企業群	出版社	新聞	
2次加工 部品製造	✓ 印刷物等の製造に該当する企業 (出版の構成要素「印刷(商業)」「印刷(事務用)」「印刷(包装・ラベル)」ごとに定義)	印刷 (商業)	印刷 (事務用)	印刷 (包装・ラベル)
1次加工 原材料製造	✓ 印刷物製造の為に必要な材料を製造する企業 (木材の材料から製紙を製造等)	製紙	化学系 材料	
原材料	✓ 原材料自体を製造する企業(林業等)	林業	化学系 原料	

製品製造の流れ

イノベーション・コースト構想に係る産業分析マップ (ロボット、再生可能エネルギー、食品)

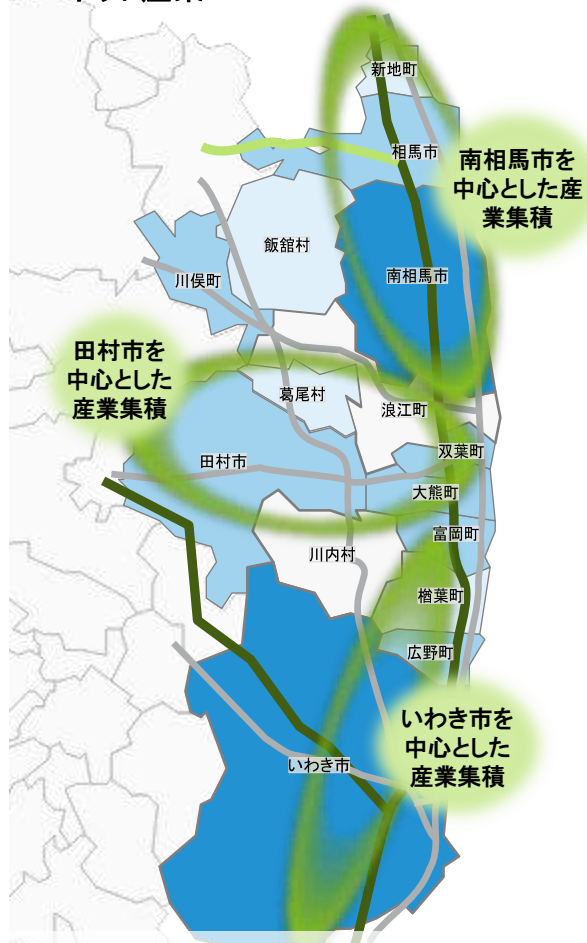
浜通り地域の産業の特徴を踏まえた上で、イノベーション・コースト構想を推進していくことが重要

各産業における浜通り地域の特徴

浜通り地域の地図表示(凡例) 主要道路(凡例)

- : 80%を超えるフェーズに企業あり
- : 31~80%フェーズに企業あり
- : 1~30%のフェーズに企業あり
- : 該当企業なし
- : 高速道路
- : 自動車専用道路
- : 国道(国管理・県管理)

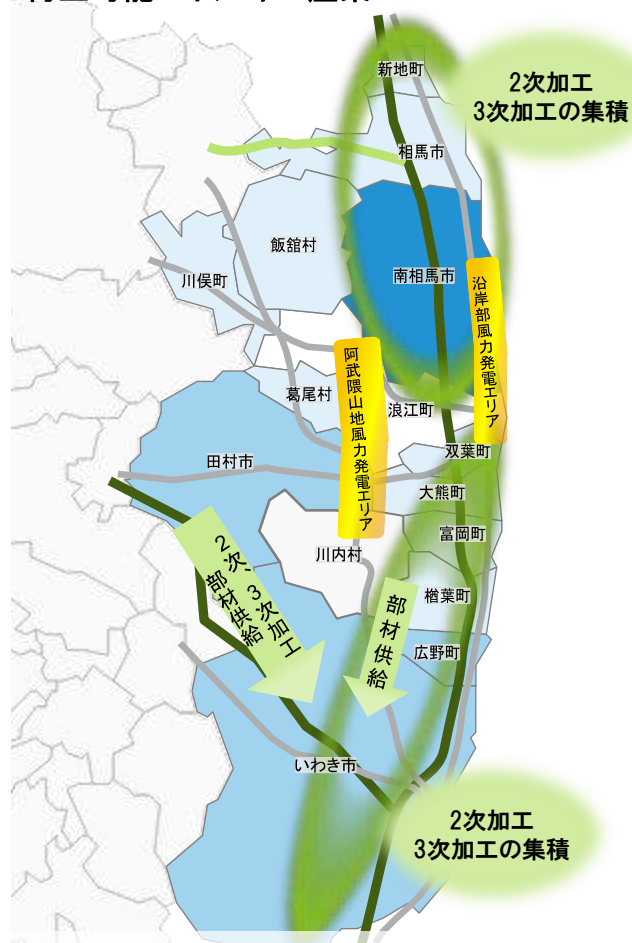
■ ロボット産業



製造工程別フェーズ定義



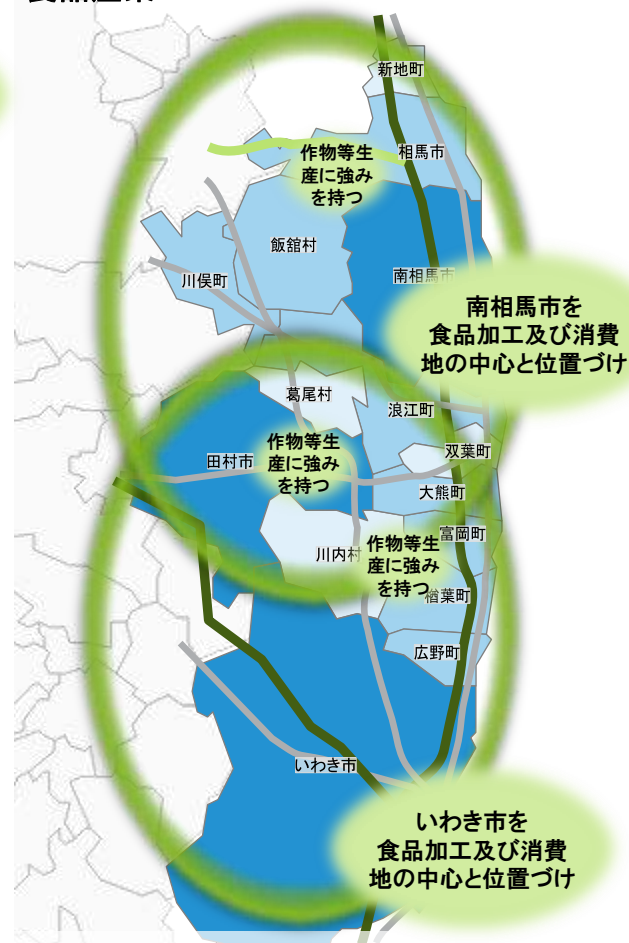
■ 再生可能エネルギー産業



製造工程別フェーズ定義



■ 食品産業



生産工程別フェーズ定義

